

# 2023年 3月期 決算説明会資料



2022 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)



株式会社エフピコ  
2023年 5月12日

# 本資料取扱のご注意

掲載する情報につきまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料に掲載する情報の、**無断での引用や転載、複製は禁じられております。**



# 2023年3月期 決算概要

専務取締役 経理財務本部本部長  
池上 功

# 決算概要 (2023年3月期 実績)

単位:百万円	通期 実績						通期 期初計画			
	2022年3月期		2023年3月期				2023年3月期			
	実績	構成比	実績	構成比	増減	前年比	数量	計画	構成比	計画比
トレー	39,244	20.1	41,199	19.5	+1,954	105.0%	95.6%	42,820	20.2	96.2%
弁当・惣菜	109,134	55.8	121,191	57.4	+12,056	111.0%	99.0%	120,920	57.0	100.2%
小計	148,378	75.8	162,390	76.9	+14,011	109.4%	97.8%	163,740	77.2	99.2%
その他製品	3,391	1.7	3,669	1.7	+278	108.2%		3,630	1.7	101.1%
製品売上高	151,770	77.6	166,060	78.6	+14,289	109.4%		167,370	78.9	99.2%
包装資材	41,935	21.4	43,114	20.4	+1,179	102.8%		42,630	20.1	101.1%
その他商品	1,994	1.0	2,111	1.0	+116	105.8%		2,000	0.9	105.6%
商品売上高	43,929	22.4	45,225	21.4	+1,295	102.9%		44,630	21.1	101.3%
売上高	195,700	100.0	211,285	100.0	+15,585	108.0%		212,000	100.0	99.7%
営業利益	15,884	8.1	16,703	7.9	+818	105.2%		16,400	7.7	101.9%
経常利益	16,703	8.5	17,328	8.2	+625	103.7%		17,000	8.0	101.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	11,206	5.7	11,529	5.5	+322	102.9%		11,230	5.3	102.7%
償却前経常利益	30,340		31,509		+1,169	103.9%		31,380		100.4%

過去最高

✓ 売上高  
13期連続増収

## ◇販売

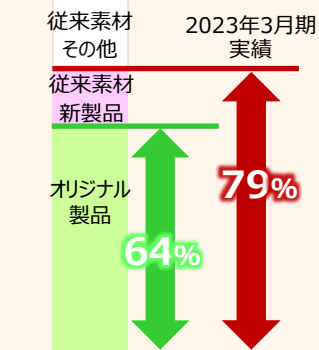
### 製品>

- ・生鮮食品向け汎用容器の反動減
- ・惣菜、テイクアウト・デリバリー向けの付加価値の高い製品及びエコ製品の販売が堅調
- ・製品価格改定  
第一次(2021年10月公表): 反映済  
第二次(2022年 4月公表): 2Qより一部早期実現  
3Qより全額反映

### 商品>

- ・エフピコ商事とエフピコみやこひも合併による販売力強化
- ・価格改定の浸透

## ◇製品売上構成比 推移



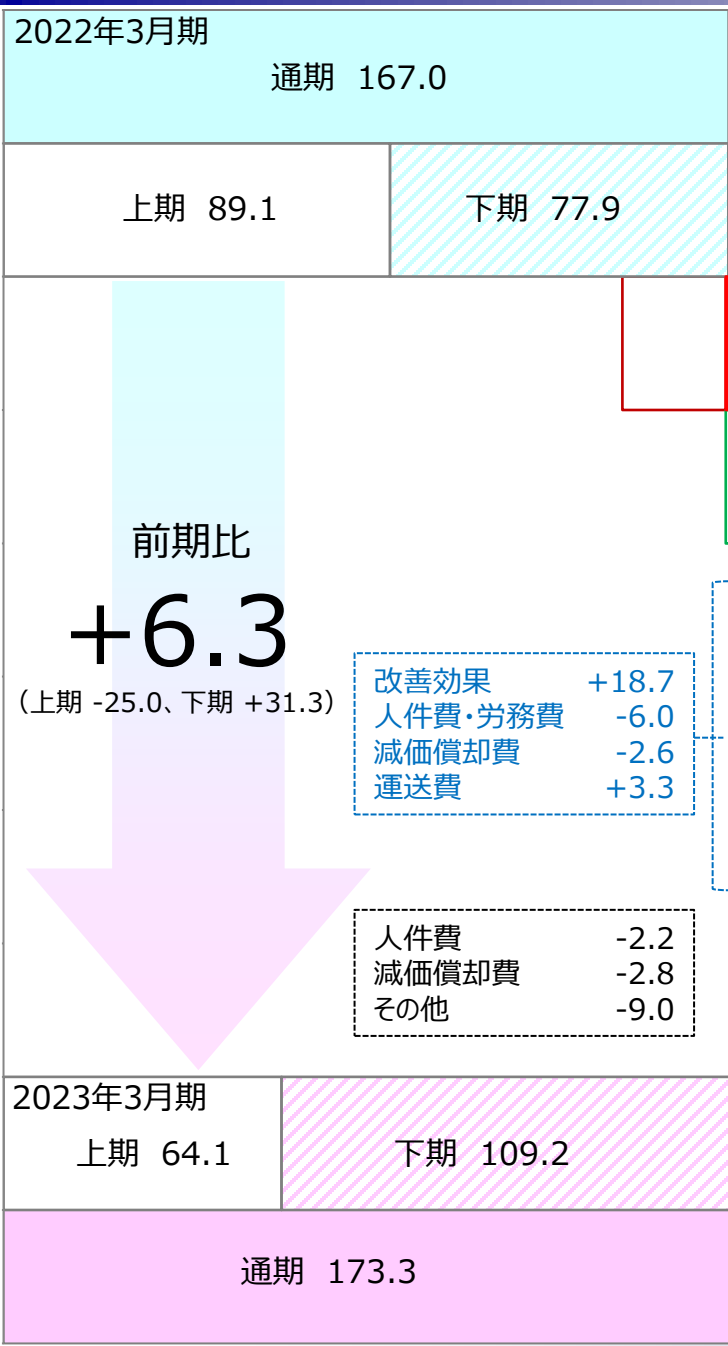
## ◇実績前期比

	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	通期 実績
製品売上高	104.9%	108.5%	114.8%	108.8%	109.4%
製品枚数 ※	98.1%	98.2%	99.0%	95.7%	97.8%
2020年3月期比	110.6%	109.2%	107.6%	105.3%	108.2%
年平均成長率(CAGR)	3.4%	3.0%	2.5%	1.8%	2.7%
経常利益	69.4%	74.3%	144.6%	127.4%	103.7%
経常利益率	6.0%	6.5%	13.8%	5.4%	8.2%

※うち エコ製品伸長率 前年比 102.5% (20年3月期比 109.3%)

# 経常利益 利益増減 実績 (2023年3月期)

単位：億円



**原料・電力価格** **-0.6**

※製品販売価格改定影響含む  
(1Q -13.5、2Q -10.9、3Q +18.5、4Q +5.3)

**販売活動** **+7.5**

(1Q +2.0、2Q +2.0、3Q +2.5、4Q +1.0)

**生産** **+0.5**

(1Q +0.5、2Q +1.0、3Q +0.5、4Q -1.5)

**物流** **±0.0**

(1Q ±0.0、2Q ±0.0、3Q ±0.0、4Q ±0.0)

**グループ会社** **+12.9**

(1Q +1.0、2Q +1.0、3Q +7.9、4Q +3.0)

**経費** **-14.0**

(1Q -3.1、2Q -5.0、3Q -3.8、4Q -2.1)

計画比

+10.4

-5.5

-7.5

+5.9

+3.3

計

二次値上げの早期実現  
計画に対して原料が若干値下がり  
電力価格の大幅な上昇

付加価値製品の販売が堅調  
数量の計画未達

自動化による省人化・省力化  
数量の計画未達

価格改定が浸透

# 設備投資・研究開発費

(2023年3月期 実績)

単位:百万円	通期 実績				通期 計画	
	2022年3月期	2023年3月期			2023年3月期	
	実績	実績	増減	前年比	計画	計画比
有形固定資産	23,084	30,121	+7,036	130.5%	32,800	91.8%
無形固定資産	277	732	+455	264.3%	200	366.2%
<b>設備投資</b>	<b>23,361</b>	<b>30,853</b>	<b>+7,492</b>	<b>132.1%</b>	<b>33,000</b>	<b>93.5%</b>
<b>減価償却費</b>	<b>13,636</b>	<b>14,180</b>	<b>+544</b>	<b>104.0%</b>	<b>14,380</b>	<b>98.6%</b>
<b>研究開発費</b>	<b>1,154</b>	<b>1,295</b>	<b>+141</b>	<b>112.2%</b>	<b>1,397</b>	<b>92.7%</b>

## 【主な設備投資】

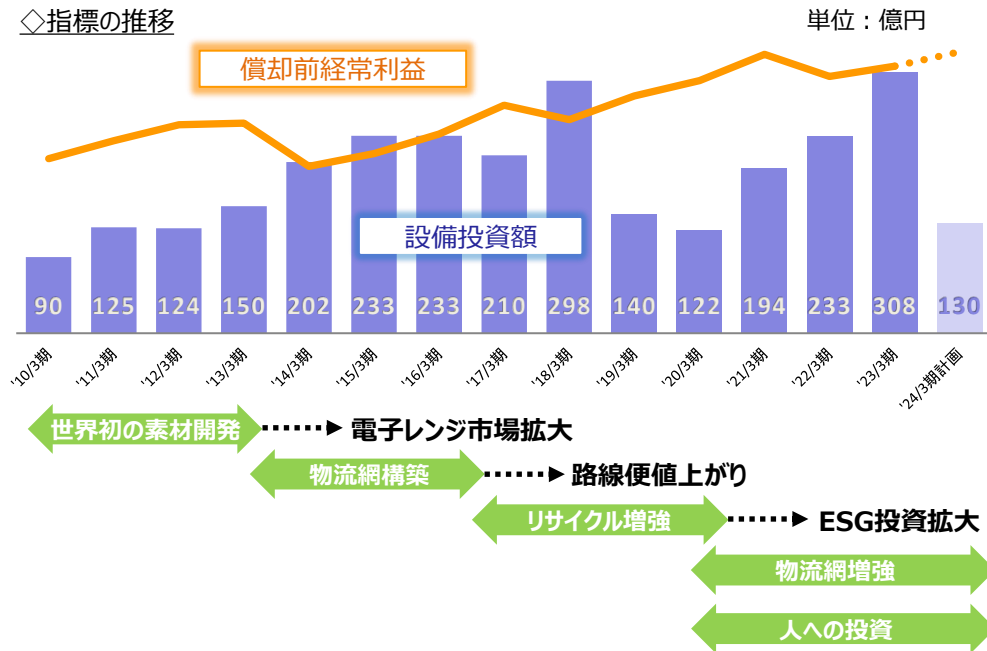
オリジナル製品への投資：エコAPET製品の生産能力・品質向上

単位:百万円	投資総額	2023年3月期 計画	通期実績
◆ エコAPET原料 生産性向上(関東・中部)	393	393	138
◆ エコAPET原料 生産能力増強(NPR)	754	754	27

販売量拡大への投資：安定供給・効率改善・働く環境整備

◆ 自動化設備の導入		76	38	
◆ 従来素材製品能力増強	1,149	1,149	901	
◆ 中部第一工場建替え	2022年5月 稼働 (圧縮記帳後)	8,530 (6,301)	5,529 (3,341)	5,570
◆ 関西工場・関西ハブセンター	2023年1月 稼働	26,670	17,238	17,832
◆ ピコハウス5号館	2022年9月 完成	2,210	1,548	1,586
◆ グループ会社生産拠点の増強 ダンボール工場増床	2024年8月 完成予定	3,527	341	503
◆ 金型			1,710	1,753
◆ IT投資			568	739

## ◇指標の推移



# 貸借対照表

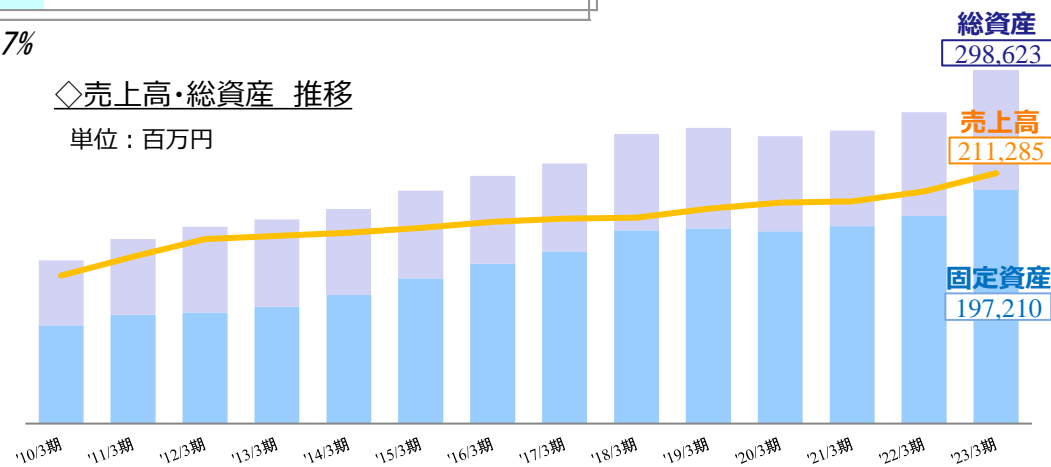
(2023年3月期 実績)

単位: 百万円	前連結会計年度		当連結会計年度			
	2022年3月期 2022/3/31	2023/3/31	増減	前年比	2023年3月期 主な増減内訳	
流動資産	87,477	101,413	+13,935	115.9%	現金及び預金	+2,510
					受取手形及び売掛金	+3,086
					商品及び製品	+4,134
					原材料及び貯蔵品	+1,429
固定資産	175,218	197,210	+21,992	112.6%	建物及び構築物(純額)	+20,453
					機械装置及び運搬具(純額)	+3,008
					土地	+1,510
					投資有価証券(LSSPI)	+6,934
資産合計	262,695	298,623	+35,927	113.7%		
流動負債	76,807	83,883	+7,076	109.2%	買掛金	+2,648
					短期借入金	+775
					未払金	+4,195
固定負債	53,432	74,568	+21,135	139.6%	長期借入金	+21,219
負債合計	130,239	158,452	+28,212	121.7%		
純資産合計	132,455	140,171	+7,715	105.8%	利益剰余金	+7,683
負債純資産合計	262,695	298,623	+35,927	113.7%		

自己資本比率 46.7%

## ◇売上高・総資産 推移

単位: 百万円



- 資産 オリジナル製品の能力増強と安定供給への戦略投資
- 負債 戦略投資の原資として借入金の活用
- 純資産 経営体質の充実強化  
事業拡大に向けた機動的な対応への備え



# キャッシュ・フロー

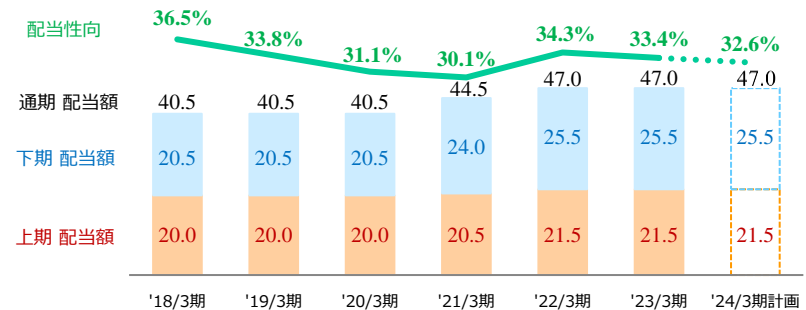
(2023年3月期 実績)

単位:百万円	通期		
	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2023年3月期 主な内訳
営業活動によるC/F	23,148	20,071	税金等調整前当期純利益 16,930 減価償却費 14,180 売上債権の増減額(△は増加) △ 3,036 棚卸資産の増減額(△は増加) △ 5,574
投資活動によるC/F	△ 22,866	△ 34,306	有形固定資産の取得 △ 27,774 関連会社株式の取得(LSSPI) △ 6,964
フリーキャッシュフロー	281	△ 14,234	
財務活動によるC/F	1,578	16,745	長期借入れによる収入 38,000 長期借入金の返済 △ 16,005 リース債務の返済 △ 1,369 配当金の支払額 △ 3,845
現金及び現金同等物の増減額	1,860	2,510	
現金及び現金同等物の期末残高	19,745	22,255	

- 営業CF オリジナル製品販売と合理化による利益確保
- 投資CF 収益基盤構築に向けた戦略投資を実施
- 財務CF 継続的に安定した配当の実施

《配当の推移》

単位:円



※当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、配当金額を記載しております。

# 2024年3月期 計 画

# 決算計画概要 (2024年3月期 計画)

単位:百万円	通期 実績		通期 計画				上期 計画			
	2023年3月期		2024年3月期				2024年3月期			
	実績	構成比	計画	構成比	増減	前年比	計画	構成比	増減	前年比
トレー	41,199	19.5	43,600	19.7	+2,400	105.8%	21,500	19.5	+1,714	108.7%
弁当・惣菜	121,191	57.4	128,000	57.8	+6,808	105.6%	64,100	58.3	+5,408	109.2%
小計	162,390	76.9	171,600	77.5	+9,209	105.7%	85,600	77.8	+7,122	109.1%
その他製品	3,669	1.7	3,900	1.8	+230	106.3%	1,950	1.8	△14	99.2%
製品売上高	166,060	78.6	175,500	79.3	+9,439	105.7%	87,550	79.6	+7,107	108.8%
包装資材	43,114	20.4	43,700	19.7	+585	101.4%	21,450	19.5	+322	101.5%
その他商品	2,111	1.0	2,100	0.9	△11	99.5%	1,000	0.9	+7	100.7%
商品売上高	45,225	21.4	45,800	20.7	+574	101.3%	22,450	20.4	+330	101.5%
売上高	211,285	100.0	221,300	100.0	+10,014	104.7%	110,000	100.0	+7,437	107.3%
営業利益	16,703	7.9	17,350	7.8	+646	103.9%	6,250	5.7	+177	102.9%
経常利益	17,328	8.2	18,000	8.1	+671	103.9%	6,600	6.0	+190	103.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	11,529	5.5	11,808	5.3	+278	102.4%	4,345	4.0	+213	105.2%
償却前経常利益	31,509		33,200		+1,690	105.4%	14,180		+742	105.5%

## ■ 販売

- 製品> ・エコ製品の販売拡大  
 ・テイクアウト・デリバリー、冷凍など新マーケットへの高機能製品提案

出荷枚数 : 前年比102.5%の伸長  
 トレー容器 : エコ製品を中心に販売拡大  
 弁当・惣菜容器 : コロナ下で定着したテイクアウト・デリバリー市場、冷凍食品市場及び病院介護食市場などに向け、積極的に販売拡大

商品> ・エフピコ商事・エフピコみやこひも合併による販売力強化

## ■ 計画前年比

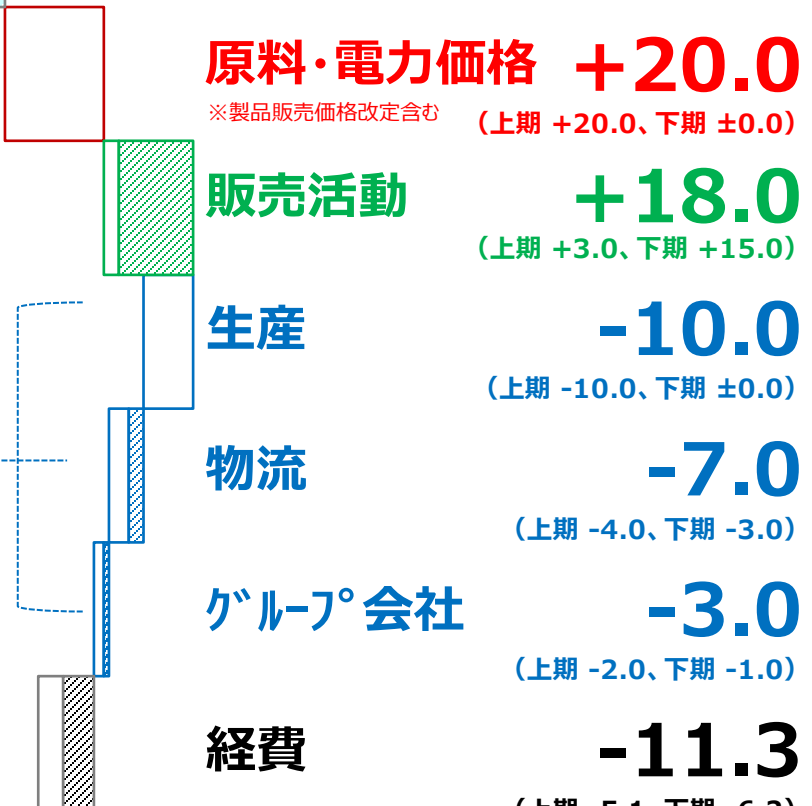
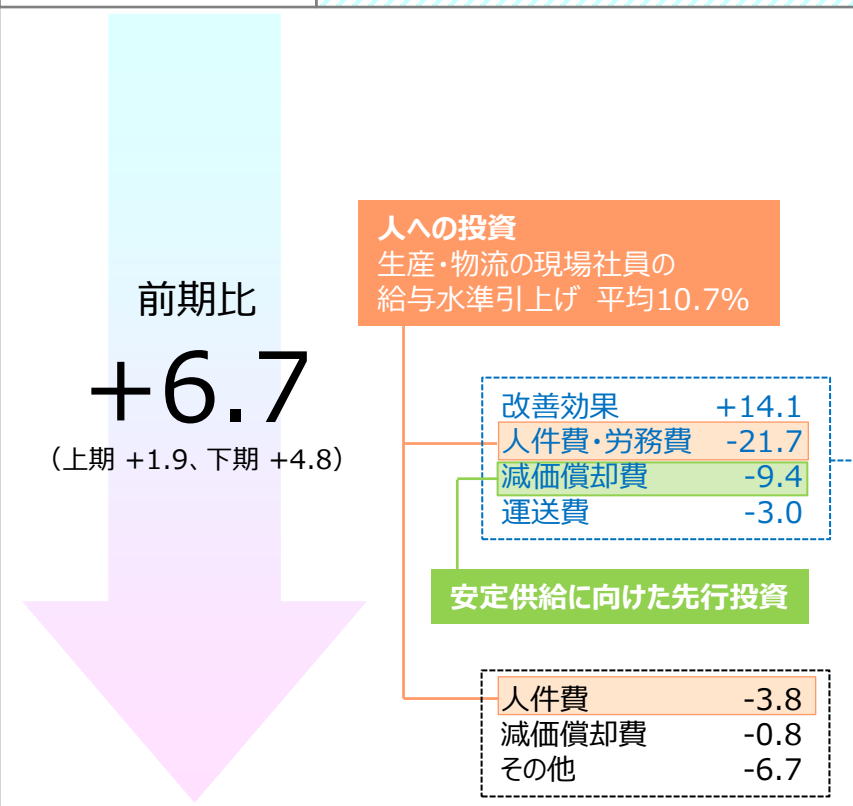
	上期 計画	下期 計画	通期 計画
製品売上高	108.8%	102.7%	105.7%
製品枚数	101.0%	104.0%	102.5%
経常利益	103.0%	104.4%	103.9%
経常利益率	6.0%	10.2%	8.1%

# 経常利益 利益増減 見通し (2024年3月期)

期初時点

単位：億円

2023年3月期	
通期 173.3	
上期 64.1	下期 109.2



2024年3月期	
上期見通し 66.0	下期見通し 114.0
通期見通し 180.0	

# 設備投資・研究開発費 計画 (2024年3月期 計画)

単位:百万円	通期 実績	通期 計画			上期 計画		
	2023年3月期 実績	2024年3月期			2024年3月期		
		計画	増減	前年比	計画	増減	前年比
有形固定資産	30,121	12,500	△17,621	41.5%	5,000	△15,593	24.3%
無形固定資産	732	500	△232	68.3%	200	△76	72.5%
<b>設備投資</b>	<b>30,853</b>	<b>13,000</b>	<b>△17,853</b>	<b>42.1%</b>	<b>5,200</b>	<b>△15,669</b>	<b>24.9%</b>
減価償却費	14,180	15,200	+1,019	107.2%	7,580	+552	107.9%
研究開発費	1,295	1,506	+210	116.2%	744	+130	121.2%

## 【主な設備投資】

単位:百万円 投資総額 2024年3月期 計画

オリジナル製品への投資：エコAPET製品の生産能力・品質向上

◆ エコAPET原料 生産性向上(関東・中部)	547	547
◆ エコAPET原料 生産能力増強(NPR)	455	455
◆ エコAPET製品 生産能力増強	240	240

販売量拡大への投資：安定供給・効率改善・働く環境整備

◆ 自動化設備の導入	294	294
◆ 従来素材製品能力増強	1,777	1,579

◆ 関西選別センター	2024年 9月 完成予定	944	391
------------	---------------	-----	-----

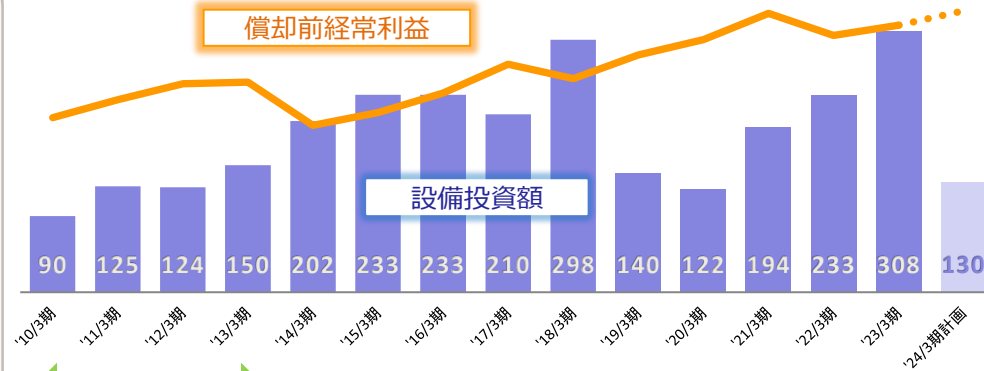
◆ グループ会社生産拠点の増強 ダンボール工場増床	2024年 8月 完成予定	3,527	986
------------------------------	---------------	-------	-----

◆ 金型	1,785
------	-------

◆ IT投資	720
--------	-----

## ◇指標の推移

単位:億円



世界初の素材開発

電子レンジ市場拡大

物流網構築

路線便値上がり

リサイクル増強

ESG投資拡大

物流網増強

人への投資

# 企業価値拡大へ向けて

---

代表取締役会長 兼 エフピコグループ代表

佐藤 守正



株式会社 **エフピコ**

- **原料動向 / 価格改定**
- **マーケットの状況**
- **エコ戦略**
- **戦略投資 / 安定供給**
- **成長戦略**

# 原料動向 価格改定





# 原料価格の高騰

2023年4月時点

2021年3月期      2022年3月期      2023年3月期

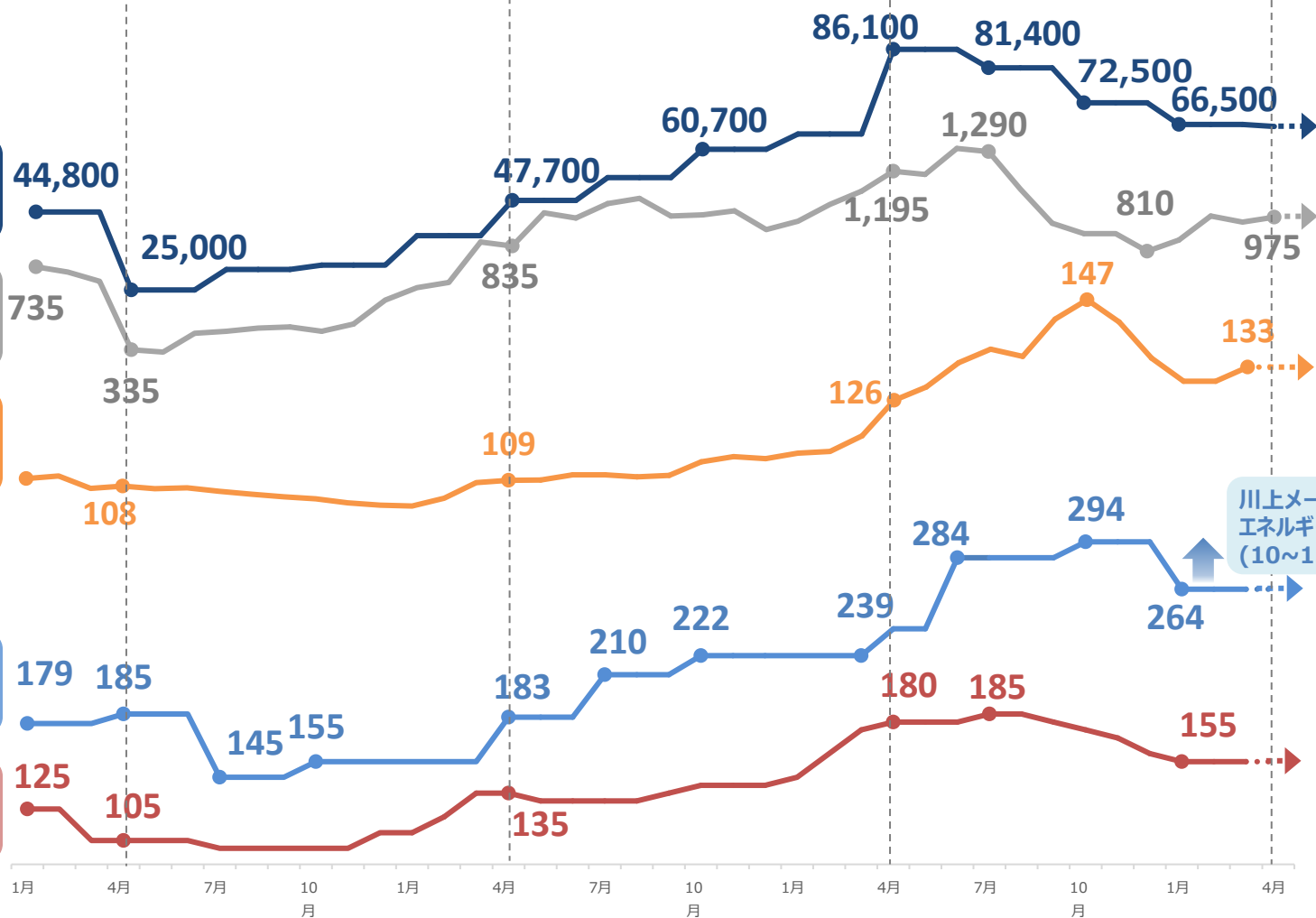
国産ナフサ換算 (円/KL)

ベンゼン (\$/トン)

為替 (¥/\$)

国内一般PS (円/kg)

国内一般PET (円/kg)



川上メーカーの  
エネルギーコスト影響  
(10~15円)

電力単価上昇

# 価格改定

2022年3月期		2023年3月期	
3Q	4Q	1Q	2Q



**10/29発表**

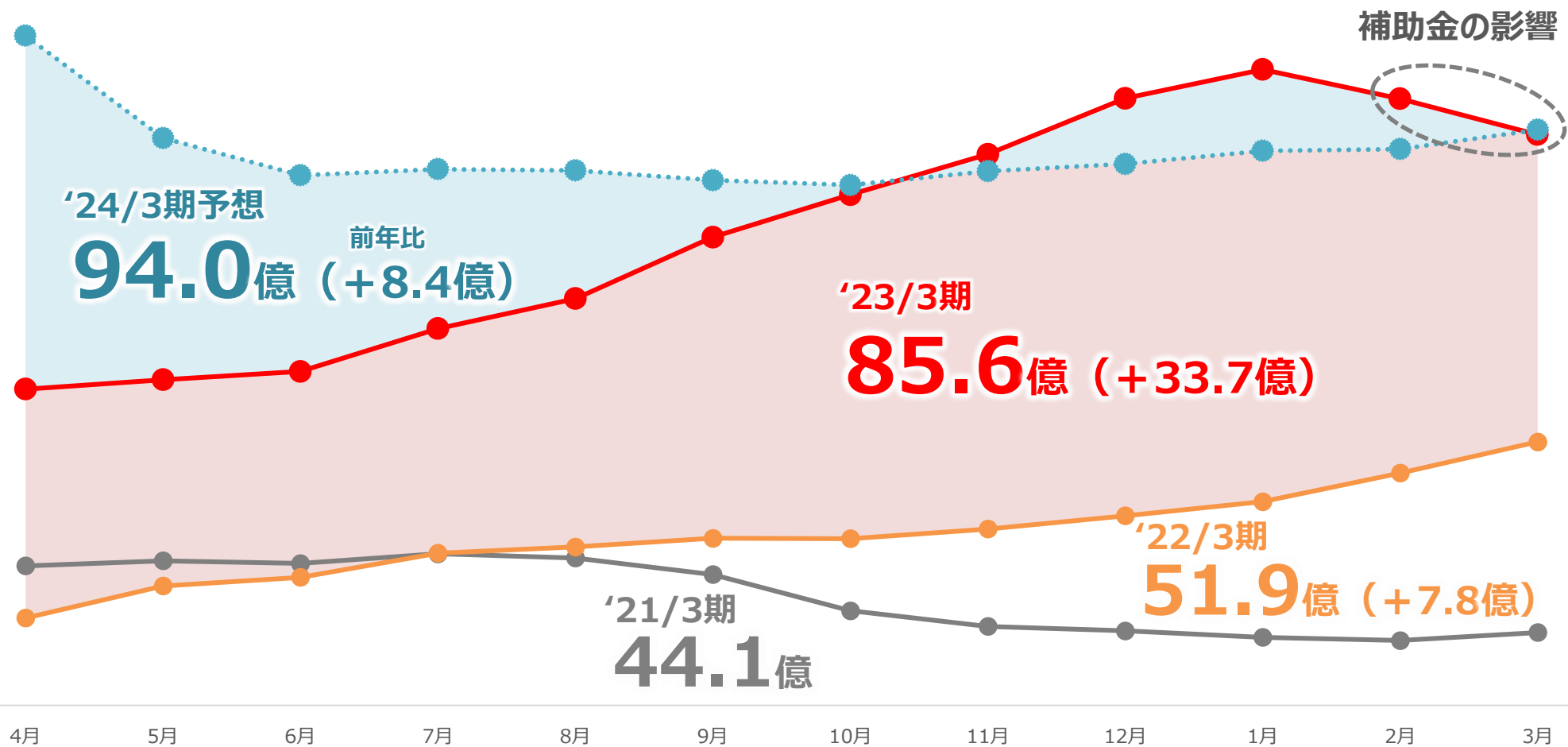
**12/1出荷分より 10%以上**



**4/28発表**

**6/1出荷分より 15%以上**

# 電力価格の高騰



# マーケットの状況

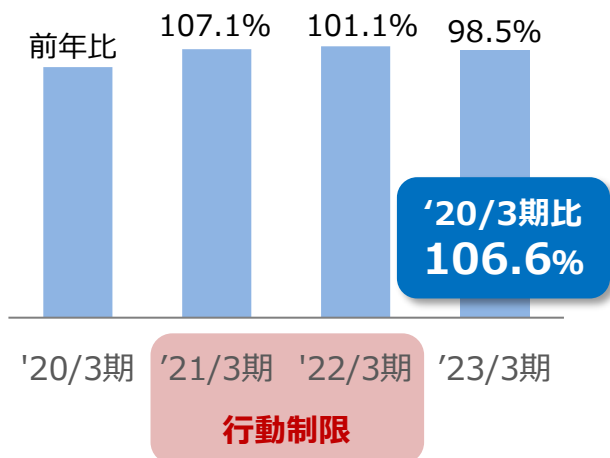


# マーケットの動向

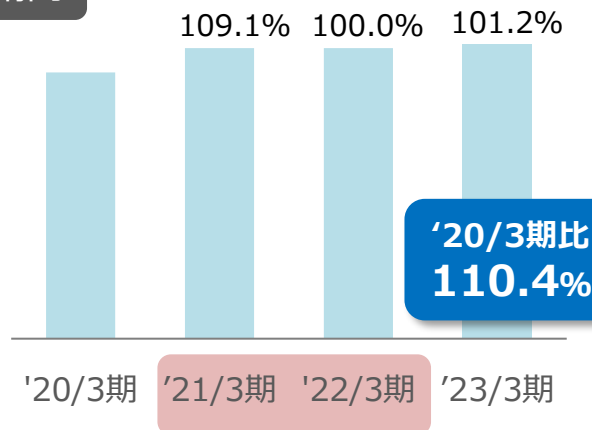
出所：一般社団法人日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会

## スーパーマーケット 売上

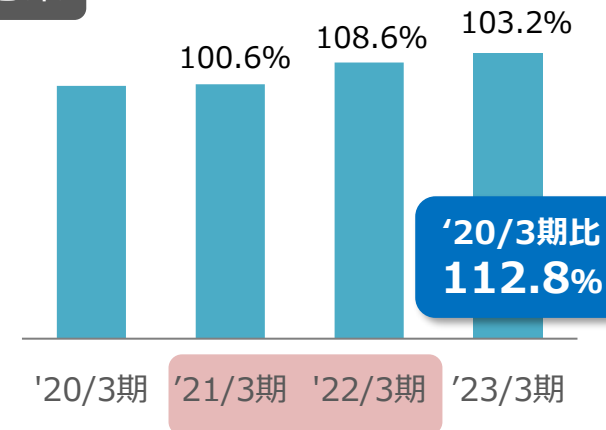
### 水産



### 精肉

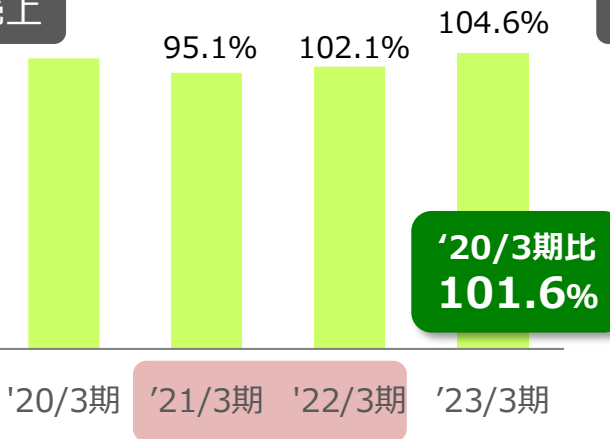


### 惣菜

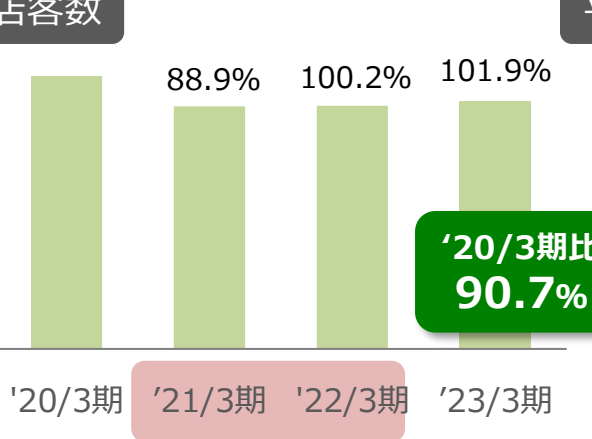


## コンビニストア

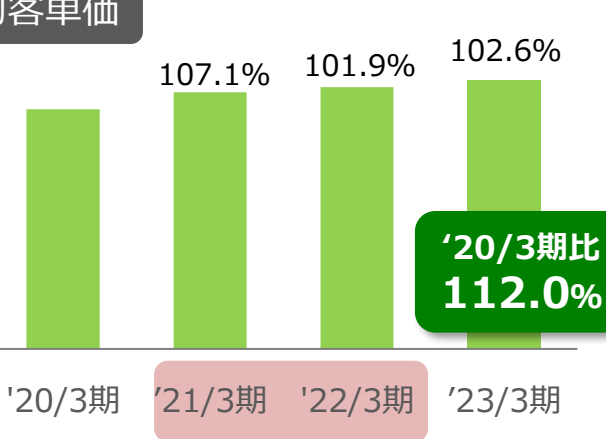
### 売上



### 来店客数

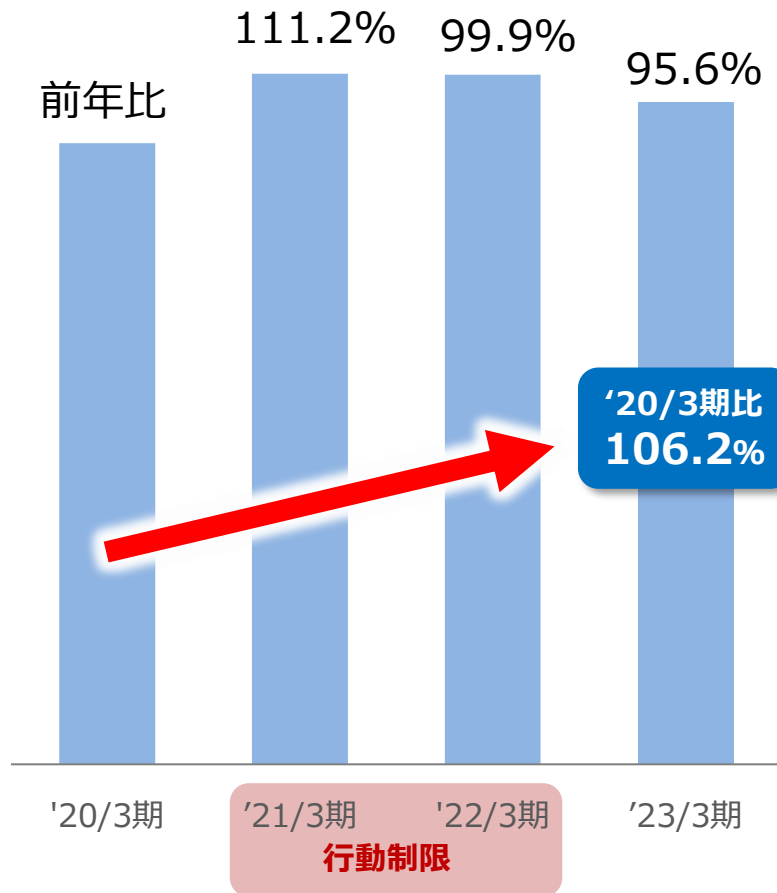


### 平均客単価

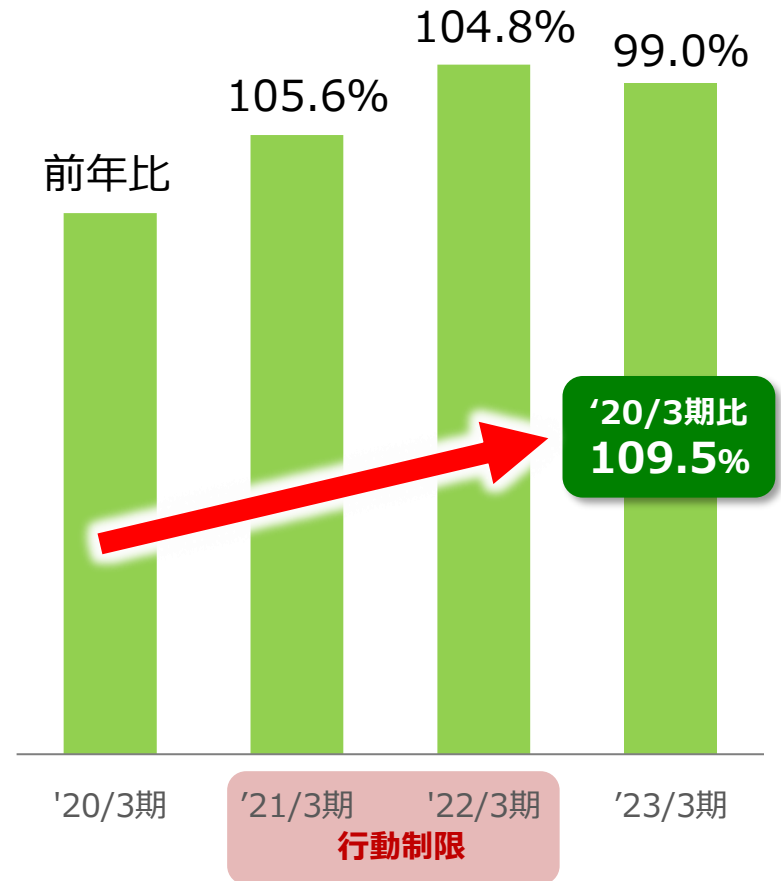


# 製品販売数量の推移

トレー



弁当・惣菜



# お客様の商品が売れるための提案

## 働き effect

旬の演出

鮮度感

ボリューム感

出来上りイメージ

値ごろ感

彩り・味わい



## 機能 function

オペレーションコスト改善

テープレス

ズレにくい

輸送効率・ライン適性

汁漏れしにくい

耐寒・耐熱・断熱



## CO2削減効果

CO2排出量

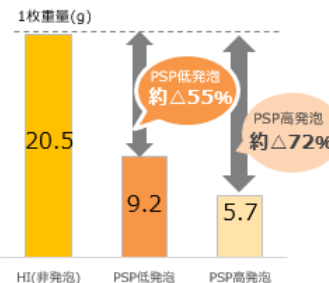
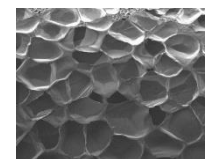
**-30%**



エコAPET®



## プラスチック使用量削減



# エピコフェア2023



2023年3月7日～9日  
東京ビッグサイト南1.2ホール  
約13,000人来場

## 激変市場編

プレイヤーの変化  
**PC/CK拡大**

プロセスセンター セントラルキッチン

広がる  
**冷凍マーケット**



求められる  
**環境対応**



## 現場実践編

営業員が足で集めた  
成功事例**465**件





# エピコフェア2023 提案内容

## ユーザーのコスト低減

※関西A社様事例（160店舗）  
※MH(人時生産性):仕事を1人で全て行ったら仮定した場合の作業時間



Uステージ



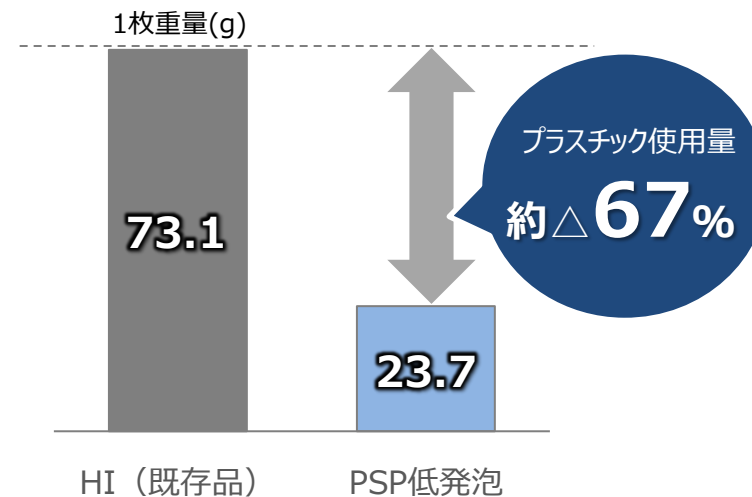
Uステージ盛台



長角鉢TZ

- ・ツマ削減効果 月間約**600万円**
- ・作業時間の改善 **8MH→6MH**

## プラスチック使用量の削減



# 冷凍市場拡大

## ユーザーで続々と導入実験スタート

### 冷凍商品に期待される4つの可能性

#### オペレーション変革



開店までに売り場づくりが間に合う

#### ロス改善



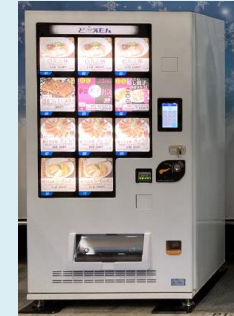
チャンスロス・廃棄ロス等

#### 旬のコントロール



旬を閉じ込めて年間で美味しさを実現

#### 来店から外販へ



閉店後の時間で売上確保

## 社会背景

2022年売れたもののランキング  
セカンド冷凍庫

冷凍技術  
の進化

冷凍  
自動販売機

冷凍食品 国内生産金額（家庭用）推移

2011年  
2,603億円

2022年  
4,061億円

11年間で1.6倍に拡大

# 規格品だからすぐに始められる 冷凍包装資材

## エコPET

耐寒性 冷凍時でも割れにくい

環境配慮 『エコマーク』『ペットボトルリサイクル品』を刻印



## マルチFP

耐熱性・耐寒性 -40℃～+110℃対応

断熱性 加熱直後に手で持っても熱くない



## 耐寒PPi-タルク

強度 耐寒PPと同等

環境配慮 耐寒PPと比較しプラスチック使用量削減



最適な素材

## 三方袋 規格品上市



熱シール



7サイズ上市

## トップシール対応



フラットな容器形状  
バケツ適性

最適な包装形態

# 冷凍専用カタログ

# 「包材選びの 冷凍強化書」

みるみる  
冷凍容器がわかる

包材  
選びの  
**冷凍**  
強化書

冷凍の  
プロに聞いた!  
冷凍食品の  
はじめ方!!

鮮魚・精肉・徹底解説!  
惣菜・他

エフピコ

エフピコには冷凍に対応した 容器・三方袋があります

**耐寒 PPI-タルク**

今すぐ使える規格品の耐寒専用容器が  
10シリーズ 29サイズ ラインアップ!

※1 強度度から、プラスチック使用量削減可能  
※2 素材別同一サイズのプラスチック使用量比較

耐熱温度が130℃まであり  
冷凍からレンジまで幅広い用途に  
使用可能

- ・オリジナルの「耐寒PPI-タルク」は他の素材に比べて軽量で強度も保証されています!
- ・プラスチック使用量の削減で環境にもやさしい!
- ・トランジール対応容器もあります

ラインアップ P25-27

**PSP**

シリーズ・サイズ・柄が豊富なPSP素材

ラインアップはなんと/  
約**6,000**アイテム

- ・優れた保潔性、耐熱性
- ・剛性にも優れた成形性が高い!
- ・食品素材で軽くプラスチック使用量削減も可能

加熱をしない冷凍食品におすすめ

ラインアップ P30-33

**マルチ FP**

発泡素材で断熱性が抜群!  
加熱直後に素手で持っても熱くない

耐熱性 耐熱110℃だから  
レンジ加熱も大丈夫!

断熱性 加熱直後に手で  
持っても熱くない!

保潔性 冷めにくいから  
おいしく食べられる!

ラインアップ P28-29

冷凍に最適な蓋と三方袋

**冷凍に強い  
エコOPET  
蓋**

冷凍時でも割れにくい!

- ・冷凍耐性有り
- ・真空脱気包装対応
- ・ボイル可能(95℃で30分)
- ・生鮮用の耐ビニール用も有り

環境に優しいリサイクル素材  
ボトル to トレー

**三方袋を使えば省スペース**

容器・蓋より冷凍庫で  
かさばらない!

ラインアップ P24

# テイクアウト・デリバリー市場拡大

出典：一般財団法人 日本惣菜協会「2022年版惣菜白書」  
富士経済「外食産業マーケティング便覧2021」

## 外食

約18.2兆円 (2020年)

## イエナカ外食

(2021年)

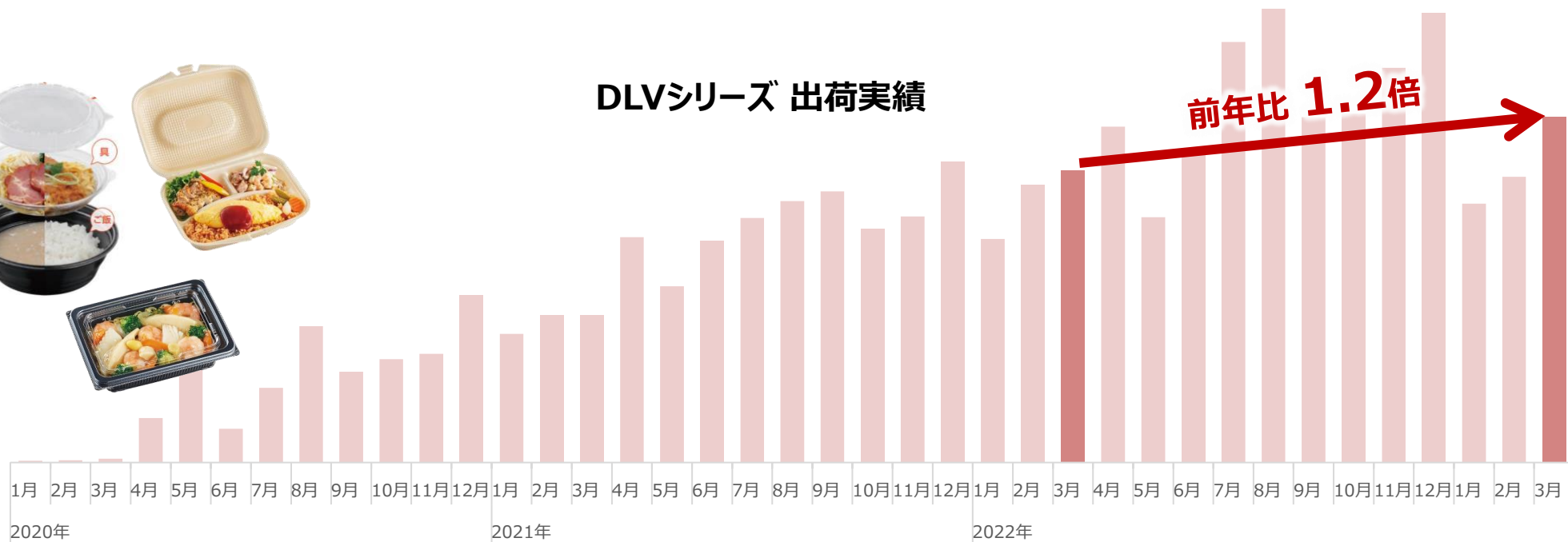
テイクアウト市場規模 約1兆4,500億円  
デリバリー市場規模 約1兆1,800億円

## 中食

約10.1兆円 (2021年)



### DLVシリーズ 出荷実績



急成長

業態拡大

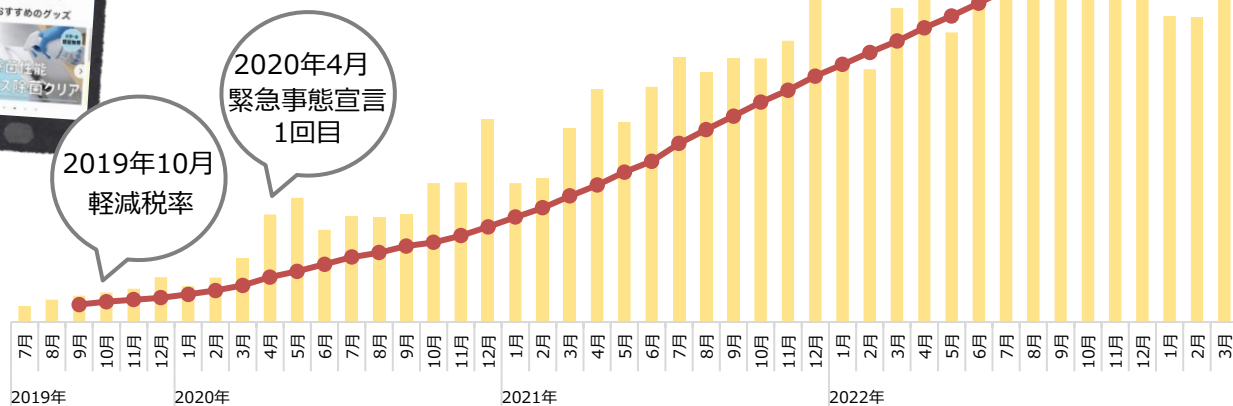
マーケット定着

# 新たな販路拡大

## 包装資材のECサイト「PackMarket」

販売実績・会員登録数

■ 販売実績  
● 会員登録数



月間売上 約**1.2**億円

登録 約**13,800**アイテム

うち、製品 約8,400アイテム

(2023年3月末時点)

WEBマーケティング  
広告・SEO対策



## 2022年7月エフピコ商事・エフピコみやこひも合併

エフピコ商事

商品の  
MD力・調達力



エフピコみやこひも

包装資材問屋・ユーザーに対する  
販売力

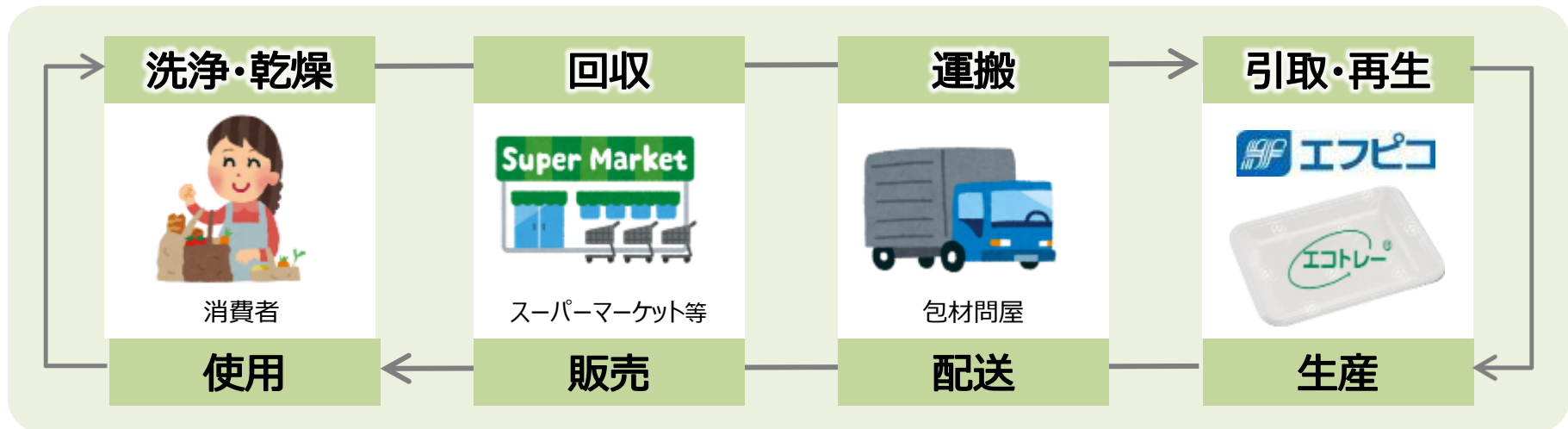


- ・資材消耗品の販売力強化
- ・全国の包装資材問屋との連携強化

# エコ戦略



# エピコ方式のリサイクル



**歴史**

- 1980年 広島ゴミ問題
- 1990年 米国 マクドナルド不買運動
- 1990年 エピコ方式のリサイクル開始
- 1992年 「エコトレー」の販売開始
- 1995年 容器包装リサイクル法制定
- 1997年 京都議定書
- 2001年 透明容器の回収開始
- 2008年 透明容器のリサイクル開始
- 2011年 PETボトルのリサイクル開始
- 2012年 「エコAPET」の販売開始
- 2015年 パリ協定
- 2021年 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律制定

容器包装から紙包装へ変更

導入当初  
**6店舗**

回収拠点  
福山市・大阪市からスタート

約**30年**

2023年3月末時点  
約**10,500**拠点

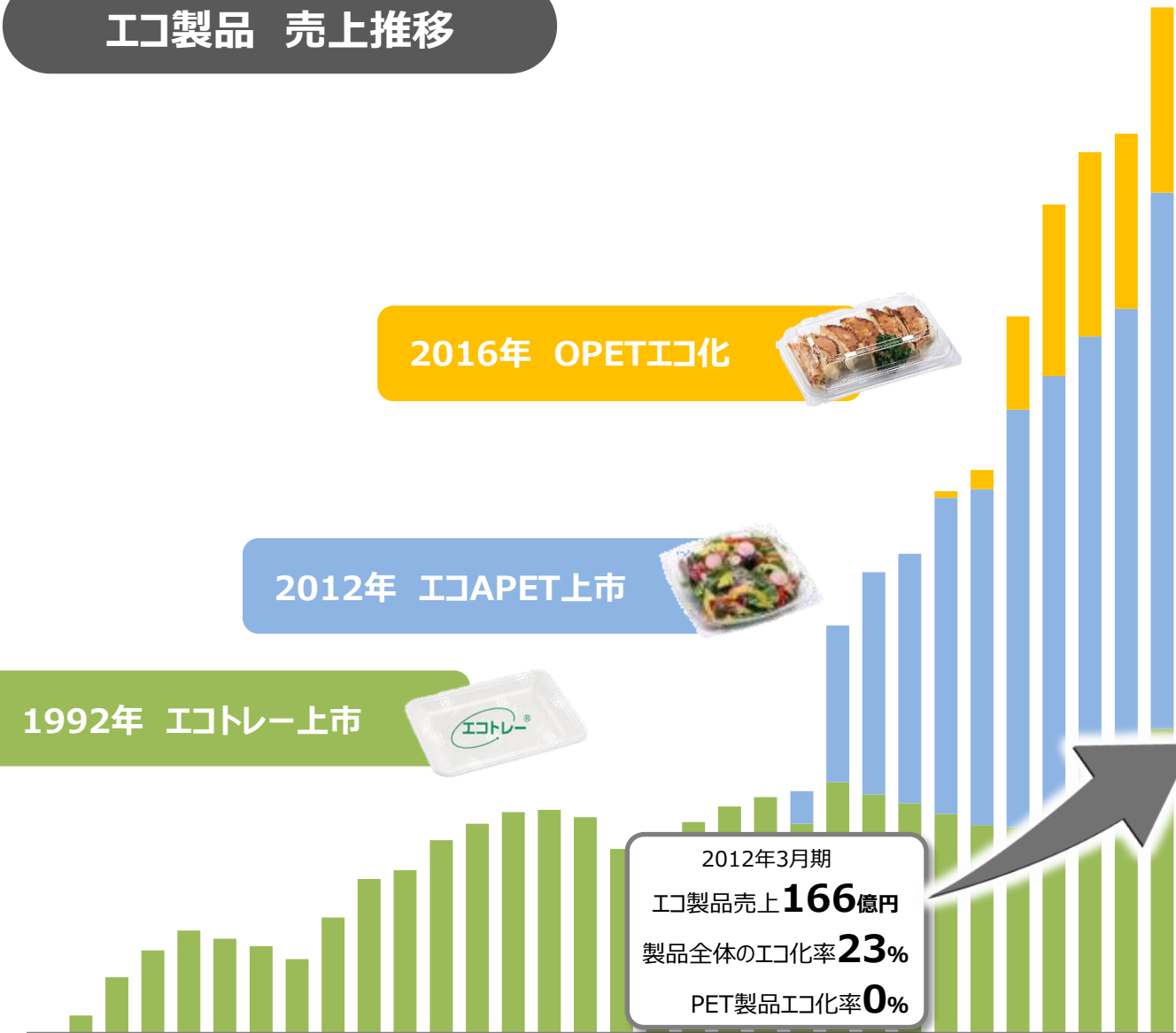




# エコ製品の販売実績



## エコ製品 売上推移



2016年 OPETエコ化

2012年 エコAPET上市

1992年 エコトレー上市

2012年3月期  
エコ製品売上 **166**億円  
製品全体のエコ化率 **23%**  
PET製品エコ化率 **0%**

2023年3月期  
エコ製品売上

**724**億円

製品全体のエコ化率  
枚数ベース

**46%**

PET製品エコ化率

**100%**

# プラスチック資源の回収



※枚数・本数は、標準的なグラム数にて換算  
PSP : 4 g、透明容器 : 10 g、PETボトル : 25 g



# 気候変動対応 エコ製品によるCO2排出量の削減



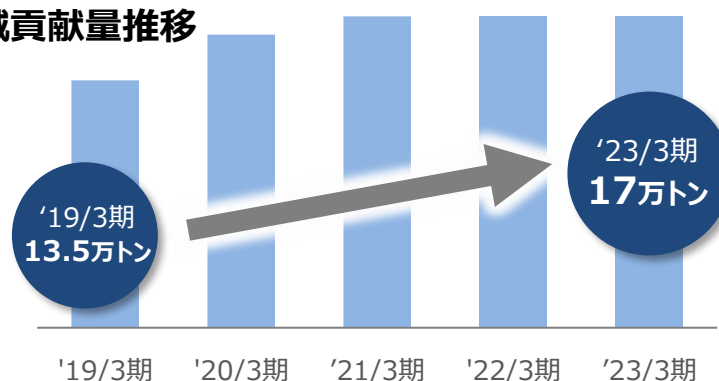
CO2排出量

# -30%

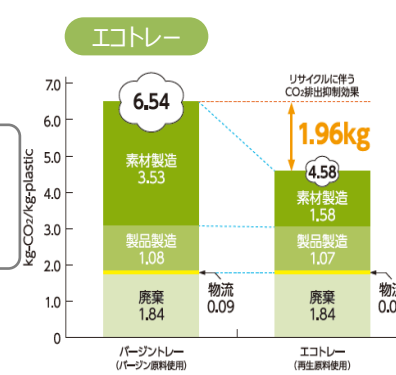
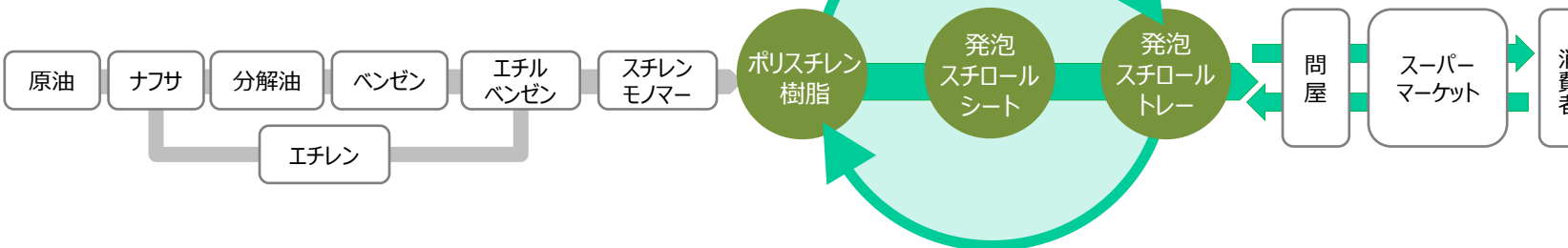


## CO2排出削減貢献量推移

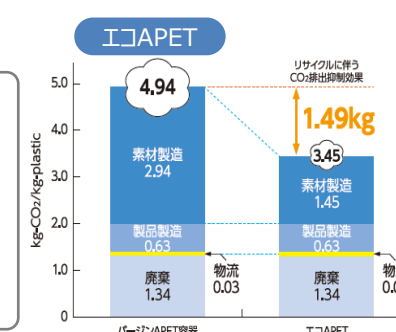
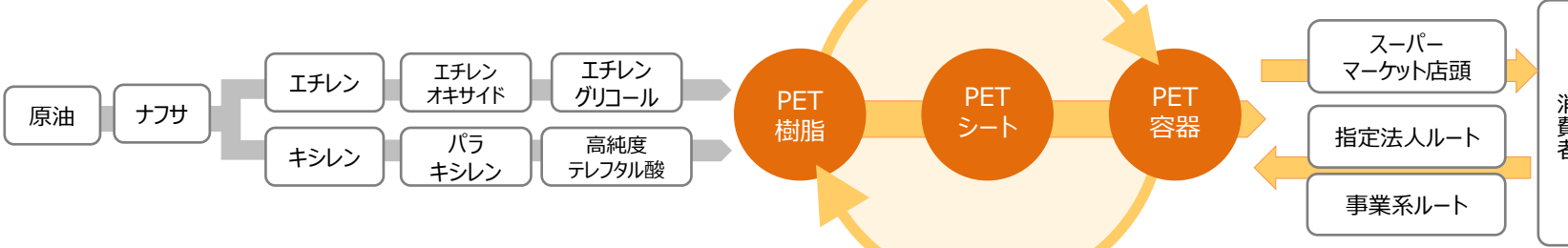
(単位：トン)



## トレ-toトレ



## ボトルto透明容器



# 「ストアtoストア」の水平リサイクル



お店で販売した物のうち、  
資源として再利用できる物は**そのお店で回収し、**  
再生した上で**そのお店で使用**する

## スーパーマーケット



店舗で回収・販売



## エフピコ



リサイクル・容器製造



トレーtoトレー  
ボトルto透明容器

# 回収量増加・品質向上に向けて



## 店長メッセージPOP



## 回収拠点

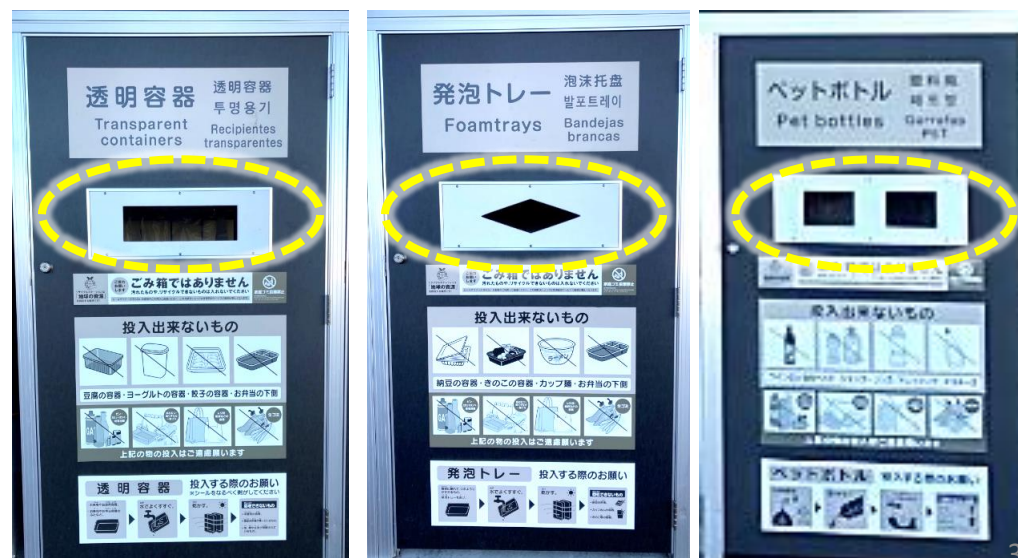
(2023年3月末時点)

うち、透明容器  
約**10,500**拠点      約**5,600**拠点



きれいに洗って入れてくださると  
大変助かります！  
いつもありがとうございます！

## 投入口の位置や形状を工夫

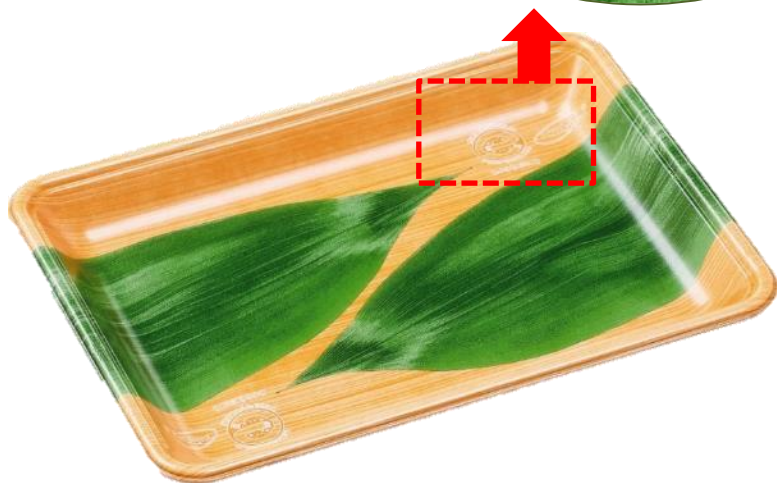


# エコ製品の消費者への訴求



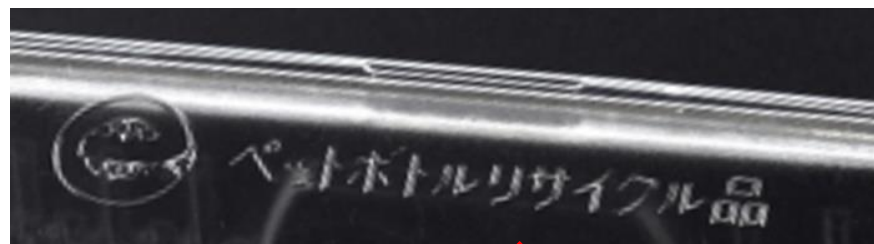
環境に配慮した製品であることをわかりやすくするため  
エコ製品に「**エコマーク**」「**ペットボトルリサイクル品**」を表示刻印。

## エコトレー



エコトレー全製品に表示済み

## エコAPET・エコOPET



売れ筋製品より順次刻印追加

# 「資源を大切にしているお店の思い」を消費者へ



いつもトレー・ペットボトル回収にご協力ありがとうございます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

この容器はリサイクル素材を使用しています。

**CO<sub>2</sub>削減に貢献するエコトレー**を使用しています。

---

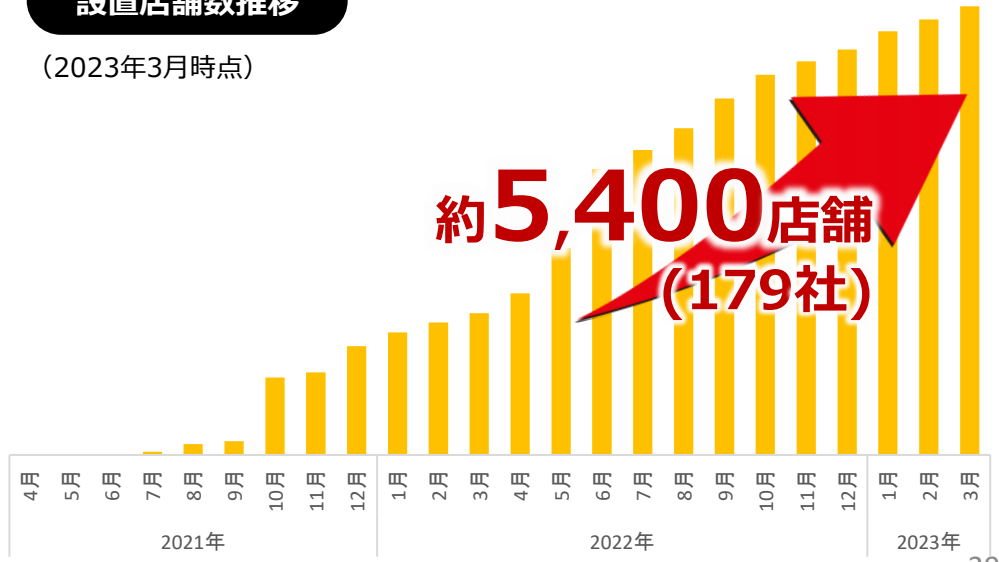
いつもトレー・ペットボトル回収にご協力ありがとうございます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

このお店で回収されたペットボトルからサラダ容器へリサイクルしています。

## 設置店舗数推移

(2023年3月時点)







# ユーザーにおける資源回収の強化



## 各社環境方針（抜粋）

関東A社	発泡トレード舗回収量：2020年度比1店舗当たり10倍
関東B社	資源リサイクルの強化：透明トレード舗回収開始、ペットボトル回収強化
東北C社	事業者責任として、容器包装の100%回収を目指す
中四国D社	食品トレード舗回収量を2019年度比で50%増加

## 中国シジシー 共同記者会見 (15社 249店舗加盟)

2022年11月29日実施



### 回収量 (トレード舗・ペットボトル)



### CO2削減量



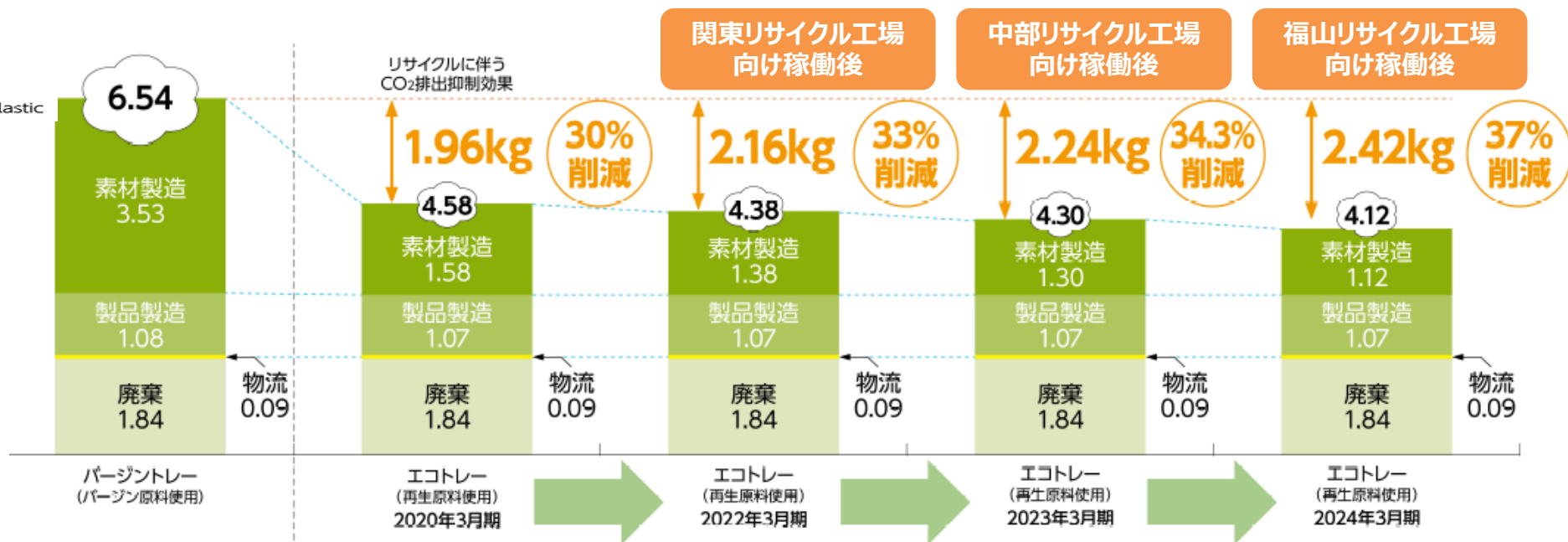
# 太陽光発電の協業によりCO2削減効果拡大へ



バージントレー

エコトレ

kg-CO<sub>2</sub>/kg-plastic



関東リサイクル工場向け  
2022年3月 運転開始



中部リサイクル工場向け  
2022年10月 運転開始



福山リサイクル工場向け  
2024年3月 運転開始予定



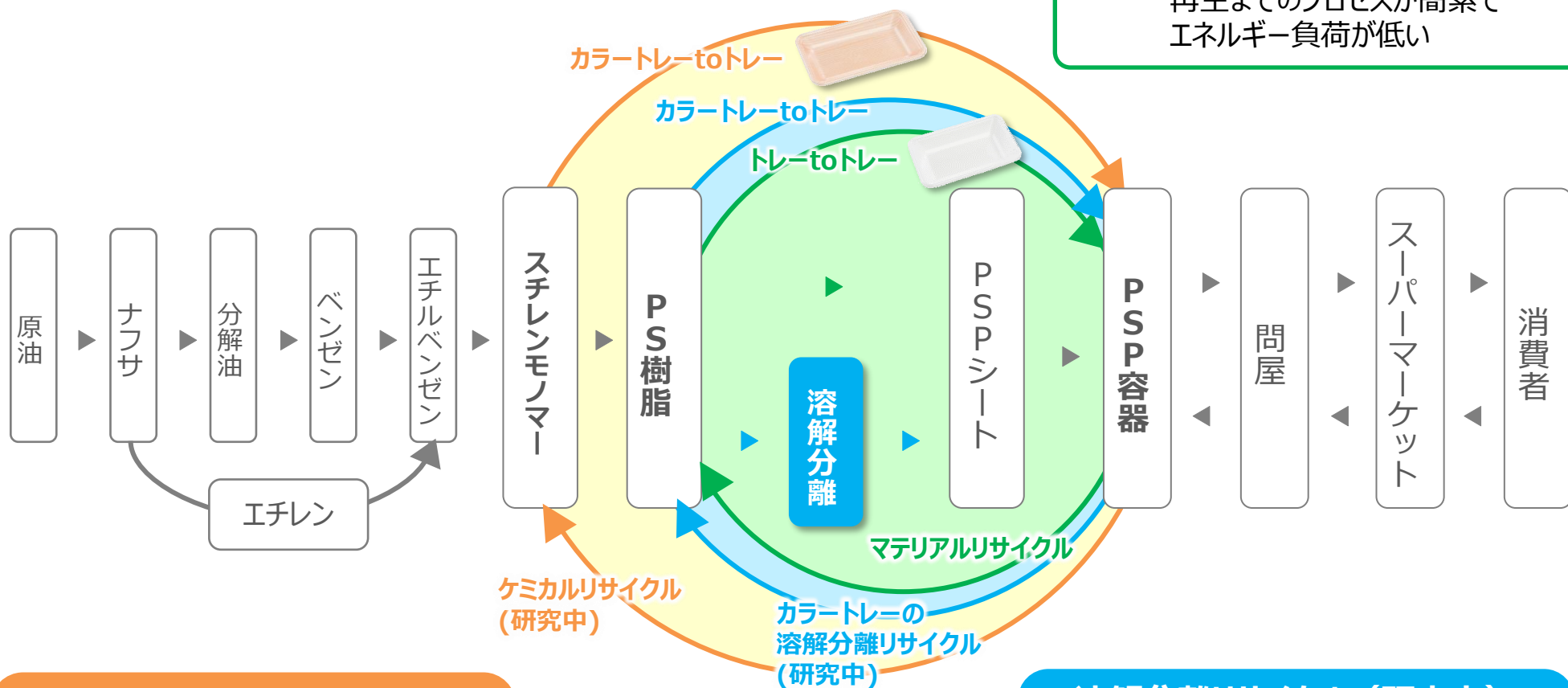
再生原料製造工程のCO<sub>2</sub>排出量ゼロを目指す

# ポリスチレンの完全循環に向けて



## マテリアルリサイクルのいいところ

再生までのプロセスが簡素で  
エネルギー負荷が低い



## ケミカルリサイクル（研究中）

- 除染能力が高い
- スチレンモノマーに戻すケミカルリサイクルなのでエネルギー負荷が低い

## 溶解分離リサイクル（研究中）

- 黒ペレットのインクの色を抜く（脱墨法）
- マテリアルリサイクル同様に環境負荷が低い

# 素材の多様化① バイオマスプラスチック製品

## バイオHIPS

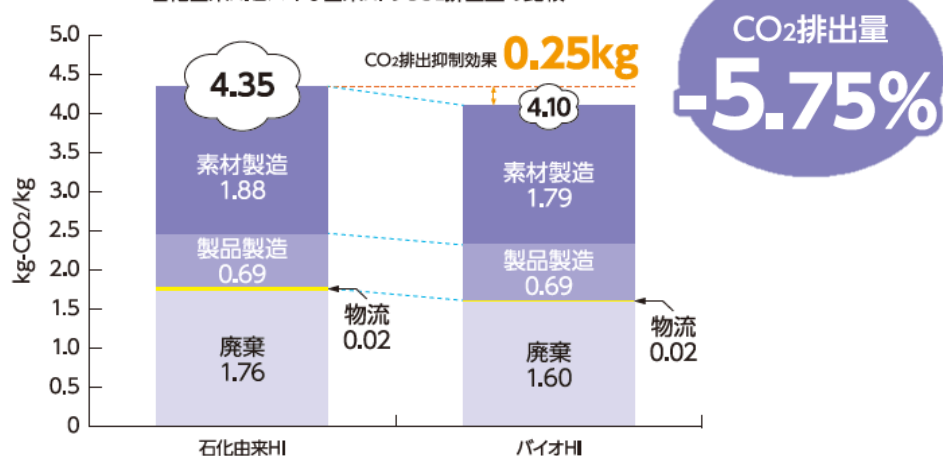


## バイオPPF

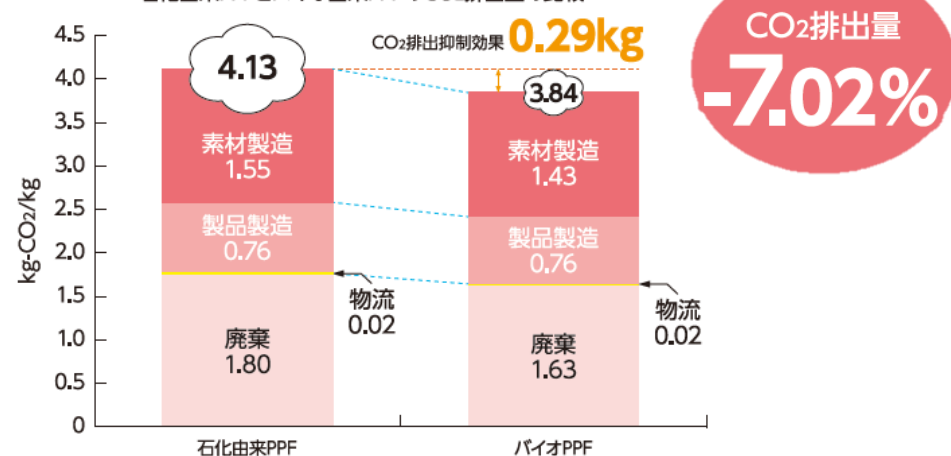


- ✓ バイオHIPS・バイオPPF 2020年6月上市
- ✓ 植物由来原料 25%使用 / 日本バイオプラスチック協会 認定登録

石化由来HIとバイオ由来HIのCO<sub>2</sub>排出量の比較



石化由来PPFとバイオ由来PPFのCO<sub>2</sub>排出量の比較



# 素材の多様化② 紙製品

12 つくる責任  
つかう責任



15 陸の豊かさも  
守ろう



## 紙トレー サイズ追加



NEW



2023年2月上市  
23-23(25)

## 紙丼シリーズ



## 紙弁当容器 (竹紙)



## 寿司容器 (竹紙)

米国スーパーマーケットにて採用決定  
国内でも規格品として上市



# 能力を最大限に活かすダイバーシティ経営

## 選別

使用済み食品トレー  
透明容器



## 製造

食品トレー容器の成形、  
組立加工、検品、包装



## 職域拡大への挑戦



エフピコグループ内の一般工場、物流の現場

特例子会社(エフピコダックス)・就労継続支援A型事業所(エフピコ愛パック)

2023年3月時点エフピコグループ

障がい者雇用人数 : 365名

障がい者雇用率換算数 : 620.5名

障がい者雇用率 : 12.5%

## 障がい者雇用に関する評価

- 2019年1月 (厚労省)  
「H30年度 障害者活躍企業」認証  
(エフピコダックス(株))
- 2022年9月 (東洋経済新報社)  
「障害者雇用率ランキング」 2位
- 2022年6月 (厚労省)  
「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定  
(もにす認定)」 (エフピコダックス(株))



# お客様の障がい者雇用をサポート

エフピコをサポートで  
お取引様を中心に

# 52事業所 760名

の雇用が生まれました

2023年3月末時点

## 精肉の下味付け



## 農産品の加工



## 青果の検品・計量



## 惣菜加工



## コンテナ洗浄



## タオルの洗濯



## 海産物選別



## 古紙減容



# フロアホッケー活動 障がいの有無を超えた交流

2019年以来、3年ぶりの大会が開催



## フロアホッケー活動 に関する受賞・認定・登録

- 2019年3月 (東京都)  
「心のバリアフリー」サポート企業として登録
- 2018年2月 (東京ボランティア・市民活動センター)  
第3回「企業ボランティア・アワード」受賞
- 2022年11月 (東京都) 5年連続認定  
「東京都スポーツ推進企業」認定
- 2022年12月 (スポーツ庁) 5年連続認定  
「スポーツエールカンパニー」認定







1990年 「エフピコ方式のリサイクル」をスタート  
約30年に渡りリサイクルに取り組み。

2020年3月「エフピコ環境基金」を創設  
これからの社会的課題の解決をテーマに  
活動する団体へ助成

各企業・NPO法人・研究教育機関等と協力して対処していく

## 助成先団体の活動（一部紹介）

エフピコグループ社員もボランティアとして参加

### 宮島ネットワーク（広島県）



<活動内容>  
宮島と周辺の海洋環境の  
維持と生態系の保全

### 湘南クリーンエイドフォーラム（神奈川県）



<活動内容>  
神奈川のビーチクリーン活動を  
ワンボイス化プロジェクト

# 全国の子ども食堂へ寄贈



## 簡易食品容器 寄贈

お取引先様である株式会社神戸物産とネスレ日本株式会社と共同し、「NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ」がサポートする子ども食堂に、弁当容器・スープ汁物容器等を提供

### 寄贈累計 789,460セット

2020年

- ① 5月 60,800セット
- ② 7月 81,600セット
- ③ 9月 81,600セット
- ④ 12月 80,000セット

2021年

- ⑤ 3月 80,000セット
- ⑥ 9月 92,000セット
- ⑦ 10月 92,000セット

2022年

- ⑧ 1月 92,000セット
- ⑨ 4月 92,280セット

2023年

- ⑩ 2月 37,180セット

## 寄贈品



# ESG評価

## CDP (カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)



### 気候変動スコア

2021年

2022年

「B」→「A-」

## ESG指数 (2023年5月時点)



FTSE4Good



FTSE Blossom  
Japan



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

# 戦略投資 安定供給



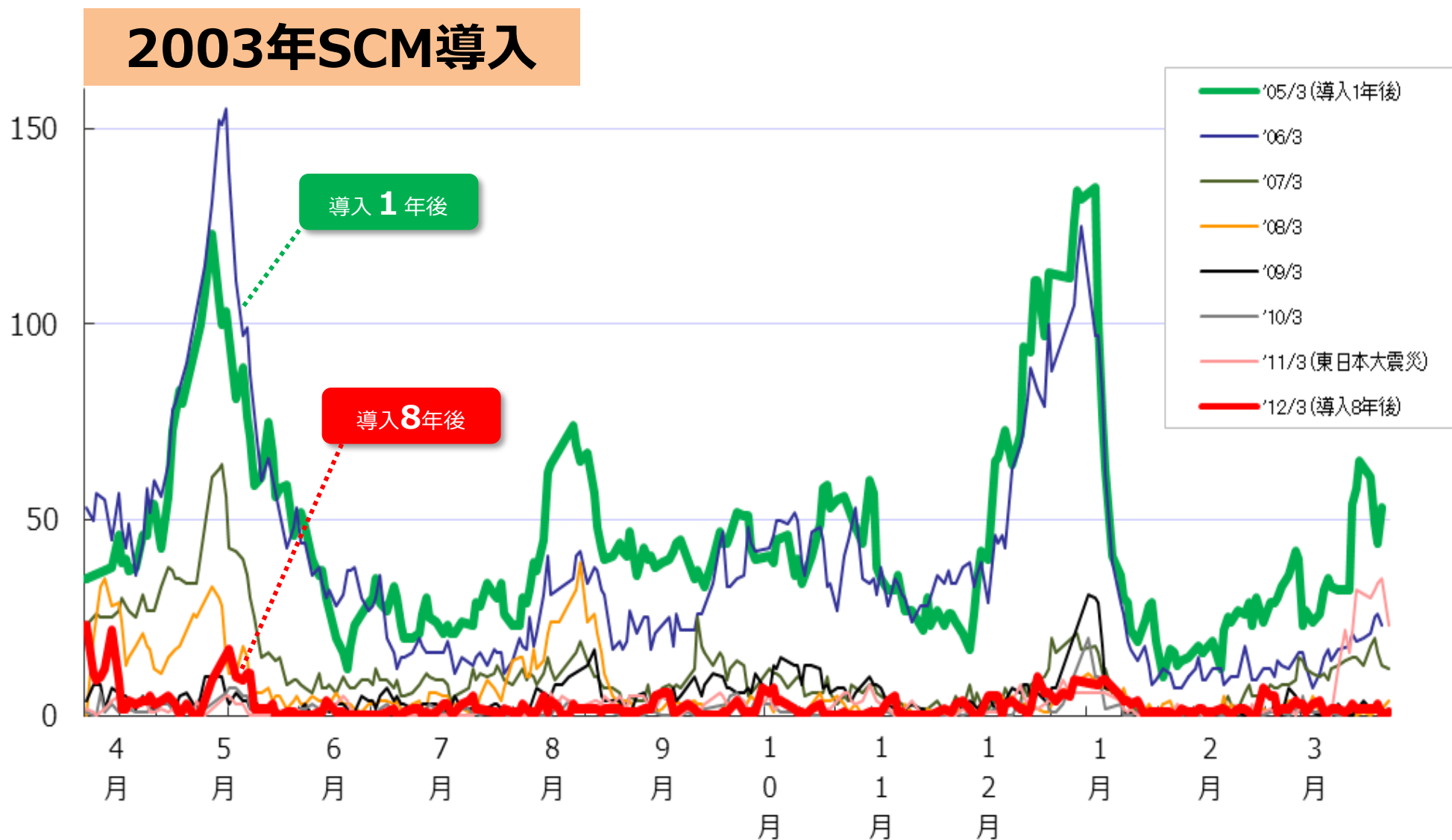
# 安定供給 – 安全・安心な食生活を支える

約11,000アイテムの品揃え

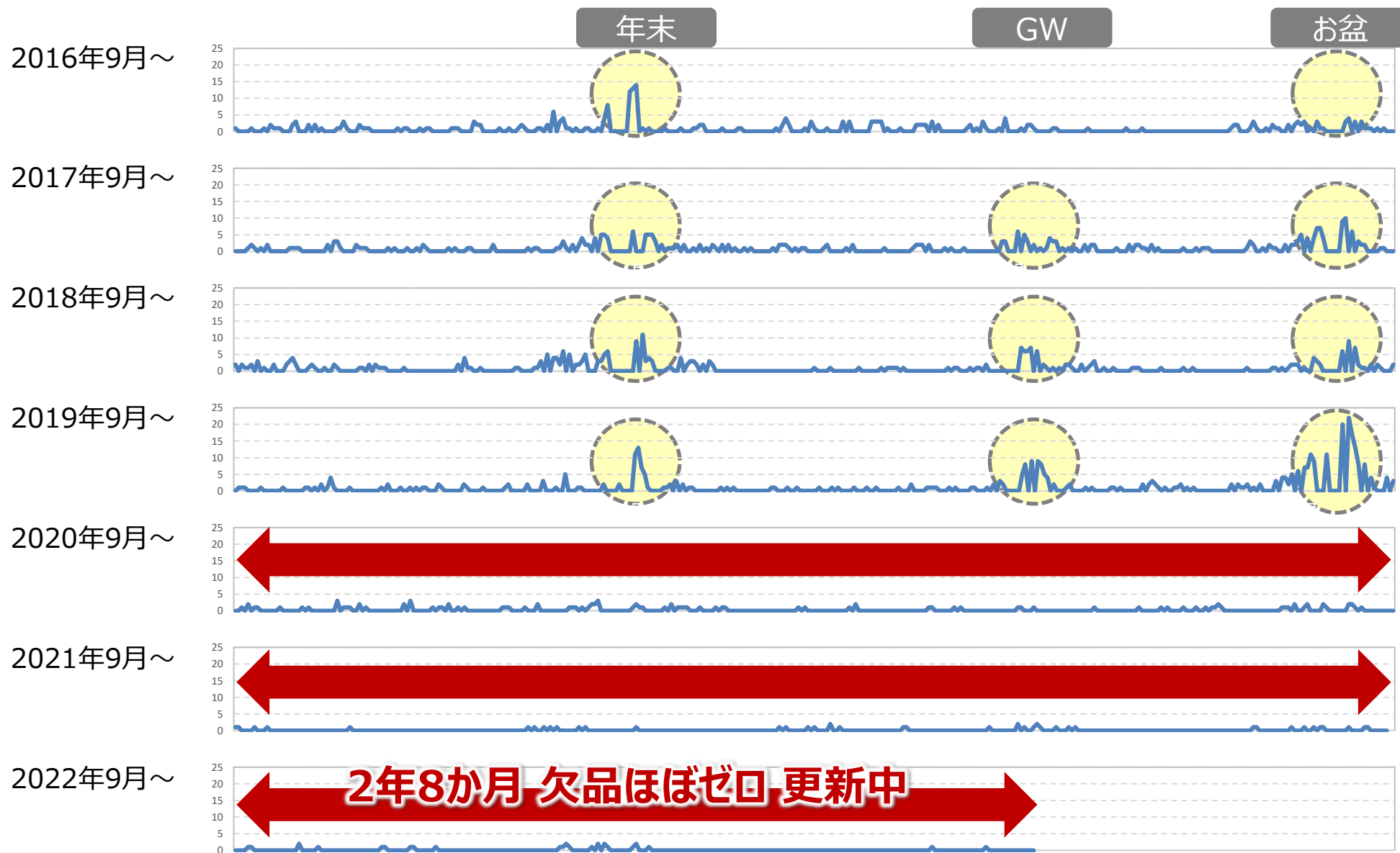
適正な在庫水準を維持



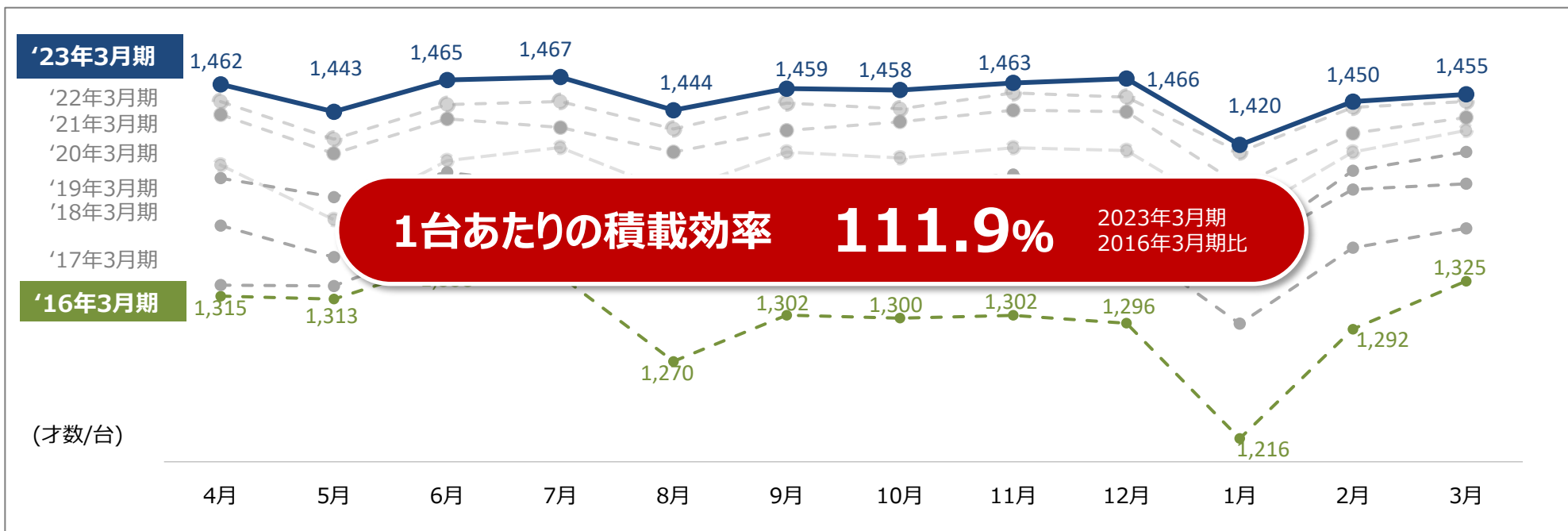
# 欠品件数 推移



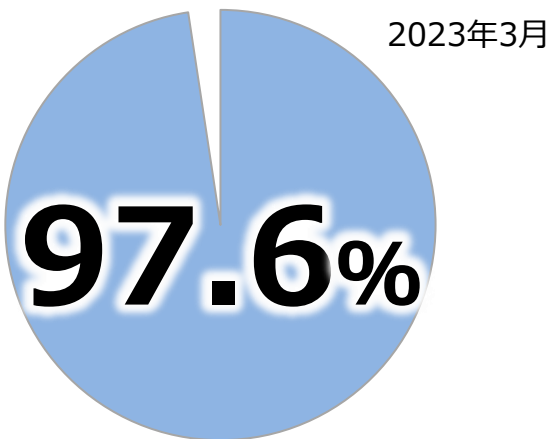
# 安定供給 - 欠品件数の推移



# 物流費上昇を抑制する取り組み



## 自社便比率



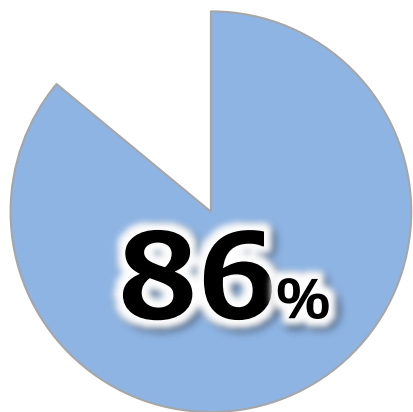
## 1ケースでも多く載せる地道な取り組み

<p><b>PLAN</b> マスタ登録・検証</p>	<p><b>DO</b> 実際に積込</p>
<p><b>ACTION</b></p> <p>荷台の計測・積込才数検討</p>	<p><b>CHECK</b></p> <p>積込後チェック</p>



# 物流品質

## 指定時間にお届けする精度



到着計画時間  
±15分以内



### 受付でドライバーに聞き込み

- ・納品時の交通・待機の状況
- ・納品順番などの要望



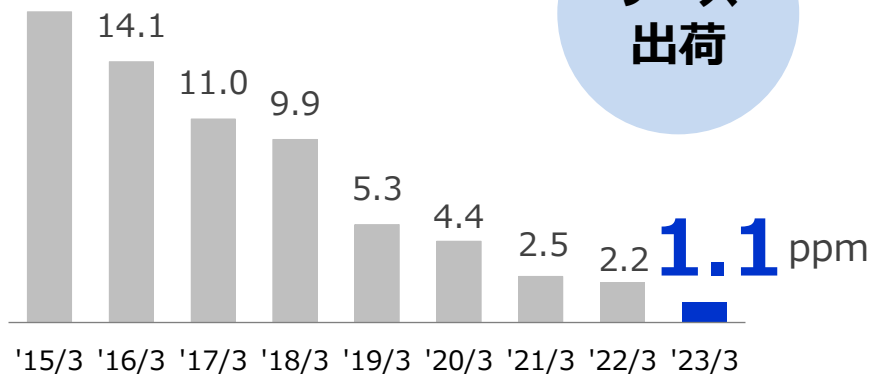
### チームで配送順を再検討

- ・納品に同行し状況確認
- ・営業部へ相談

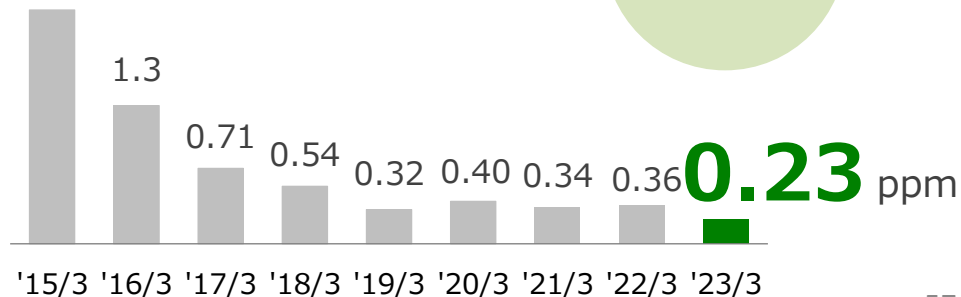
## クレーム削減

(出荷ミス、ピッキングミス、誤配送など)

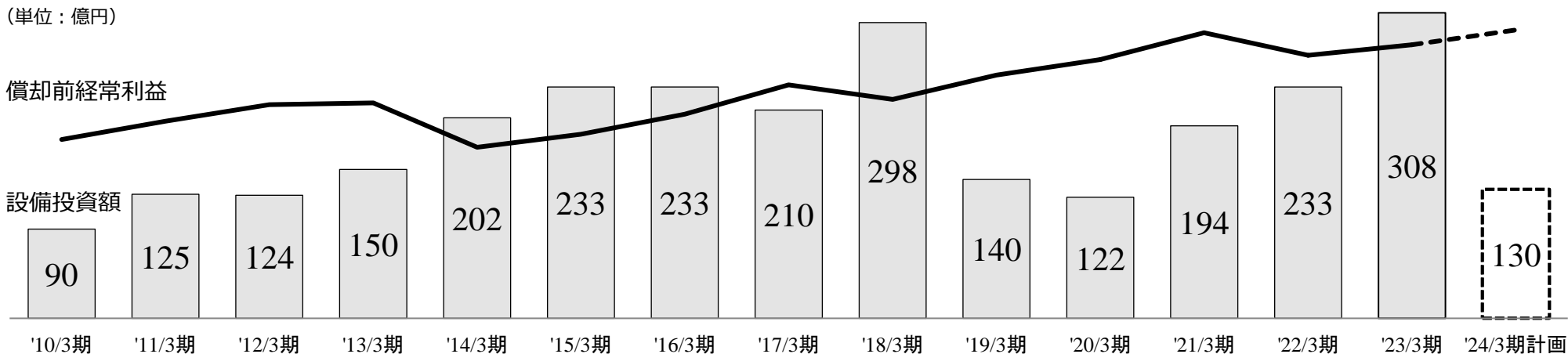
16.8



2.2



# 戦略投資



年間約**200**億円の投資水準

## 世界初の素材開発

- 2010年 マルチFP製品 上市
- 2012年 マルチソリッド製品 上市
- エコAPET 製品 上市
- OPET 製品 上市
- 新透明PP 製品 上市
- 2014年 PPI-タルク 製品 上市
- 2022年 耐寒PPI-タルク 製品 上市

## 生産・リサイクル強化

- 2012年 関東八千代工場
- 2016年 中部エコペット工場
- 2017年 関東エコペット工場
- 2018年 エピコアルライト工場
- エピコグラフィア工場
- 2022年 中部第一工場
- 2023年 関西工場

## 物流網強化

- 2012年 中部ピッキング
- 2014年 福山クロスドックセンター
- 八王子HC
- 2020年 九州HC拡充
- 福山ハブセンター拡充
- 2021年 中部クロスドックセンター拡充
- 2023年 関西ハブセンター

## 人への投資

- 2014年 総合研究所・人材開発研修センター
- 2018年 広島営業所
- 2019年 エピコインターパック本社 单身寮PicoHouse(総戸数:473戸)
- 2017年 1号館(150戸)
- 2号館(102戸)
- 2020年 3号館(63戸)
- 4号館(18戸)
- 2022年 5号館(140戸)

電子レンジ・冷凍市場拡大

ESG投資拡大

路線便値上がり

人手不足

# 関西新拠点（関西工場・関西ハブセンター）

物流・生産能力

3割移行



広島県福山市

兵庫県小野市

- ✓ 配送距離の短縮
- ✓ 2024年問題の対応  
(ドライバー不足+時間外労働の上限規制)
- ✓ 横持削減

さらなる安定供給体制へ

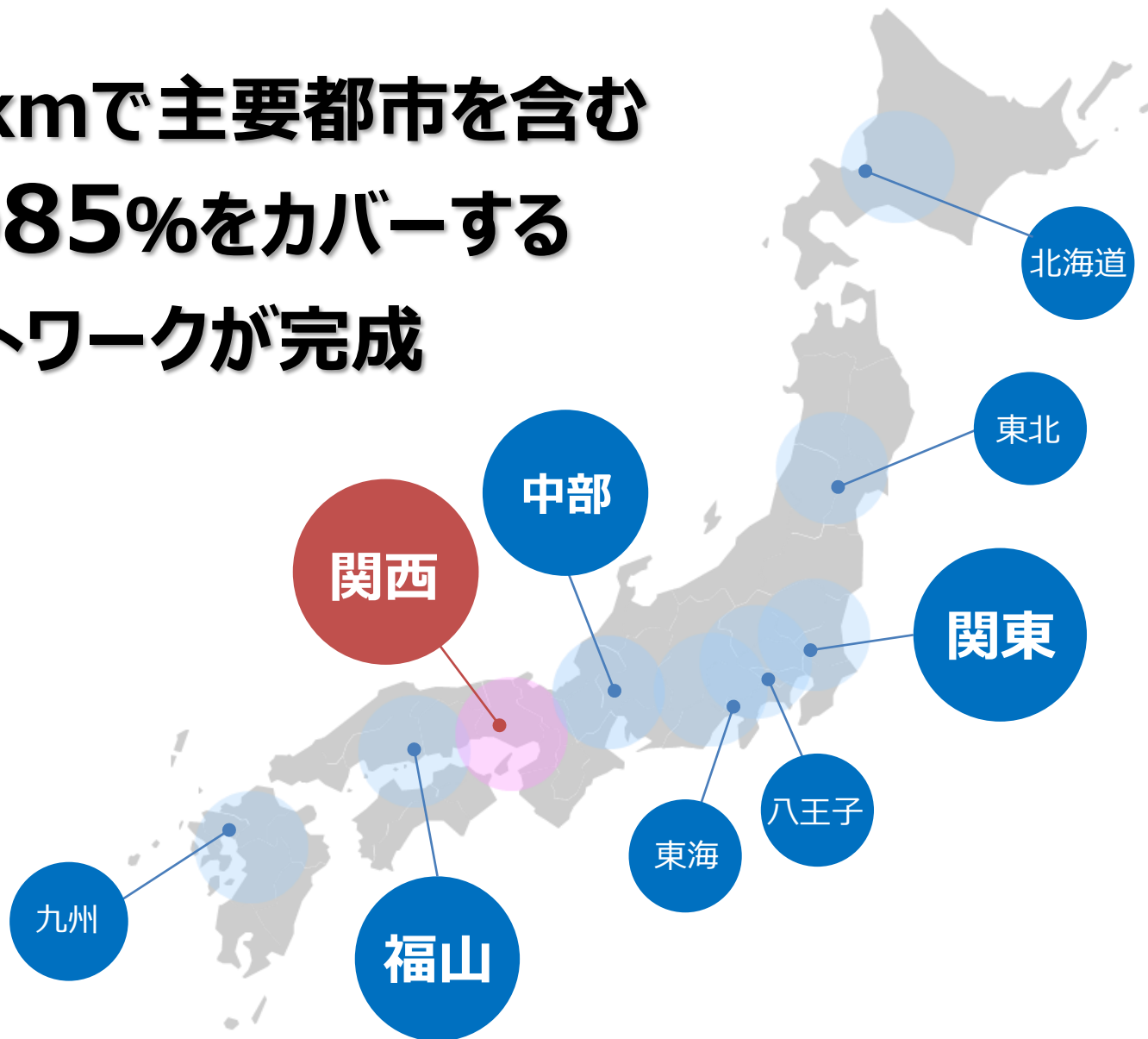


稼働時期：2023年1月  
投資額：266億70百万円  
延床面積：79,883.65㎡

2022年9月 産業団地内の別区画を追加取得  
(土地取得額：940百万円、敷地面積：29,136.58㎡)  
2024年9月 使用済み容器の選別センターを開設予定

# 全国をカバーする物流ネットワーク

半径100kmで主要都市を含む  
全人口の85%をカバーする  
ネットワークが完成



# 茨城県内の工場・配送センター建設用地取得



関東下館工場（筑西市）



筑西工場（筑西市）

関東工場・関東エコペット工場・関東リサイクル工場  
関東八千代工場・関東ハブセンター（八千代町）



関東つくば工場（下妻市）

## 坂東インター工業団地（坂東市）

土地取得額：1,036百万円  
敷地面積：51,819.61㎡

- ・中長期的な生産能力・保管能力の確保
- ・既存拠点のバックアップ機能

関東第3センター（坂東市）



# 人への投資①生産・物流部門の待遇改善



2019年3月期

- 退職金制度の拡充

2021年3月期

- 給与水準向上（深夜労働手当等の改定）

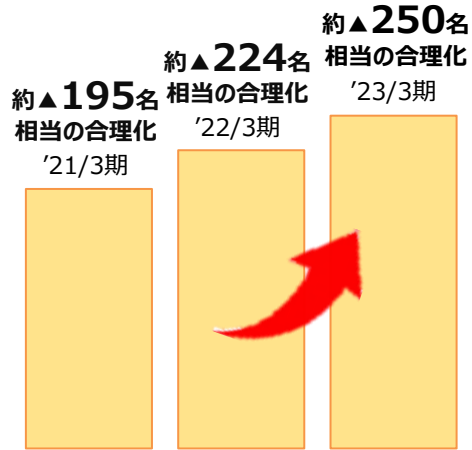
2024年3月期

- 給与水準平均10.7%の大幅な改定
- 初任給の引き上げ
- 休日日数の増加

人材の確保・定着を図る

# 人への投資②自動化設備導入による省人・省力化

## 生産部門



- ケース梱包ロボット 22台
  - 自動除塵包装機 8台
  - 自動包装機 105台
- '23/3期

## 物流部門



AGV (無人搬送車)  
33台  
'23/3期



レーザーを利用して  
無人でパレット搬送・格納

AGF (無人搬送フォークリフト)  
6台  
'23/3期

## 自動化による軽作業化

PSP原反 受け入れ



PSP原反 自動搬送



PSP原反 自動供給



金型 自動搬送



# 人への投資③働く環境整備

## 单身寮PicoHouse



## 障がい者グループホーム



## 女性活躍推進

1. 2022年以降に採用する**総合職の女性比率30%以上**を目指す
2. 2026年までに**女性管理職を50人**にする（うち課長職以上を5人以上）
3. 2026年までに**男性の育児休業の取得率を30%以上**にする



## 健康経営の推進

2023年3月  
「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に2年連続認定

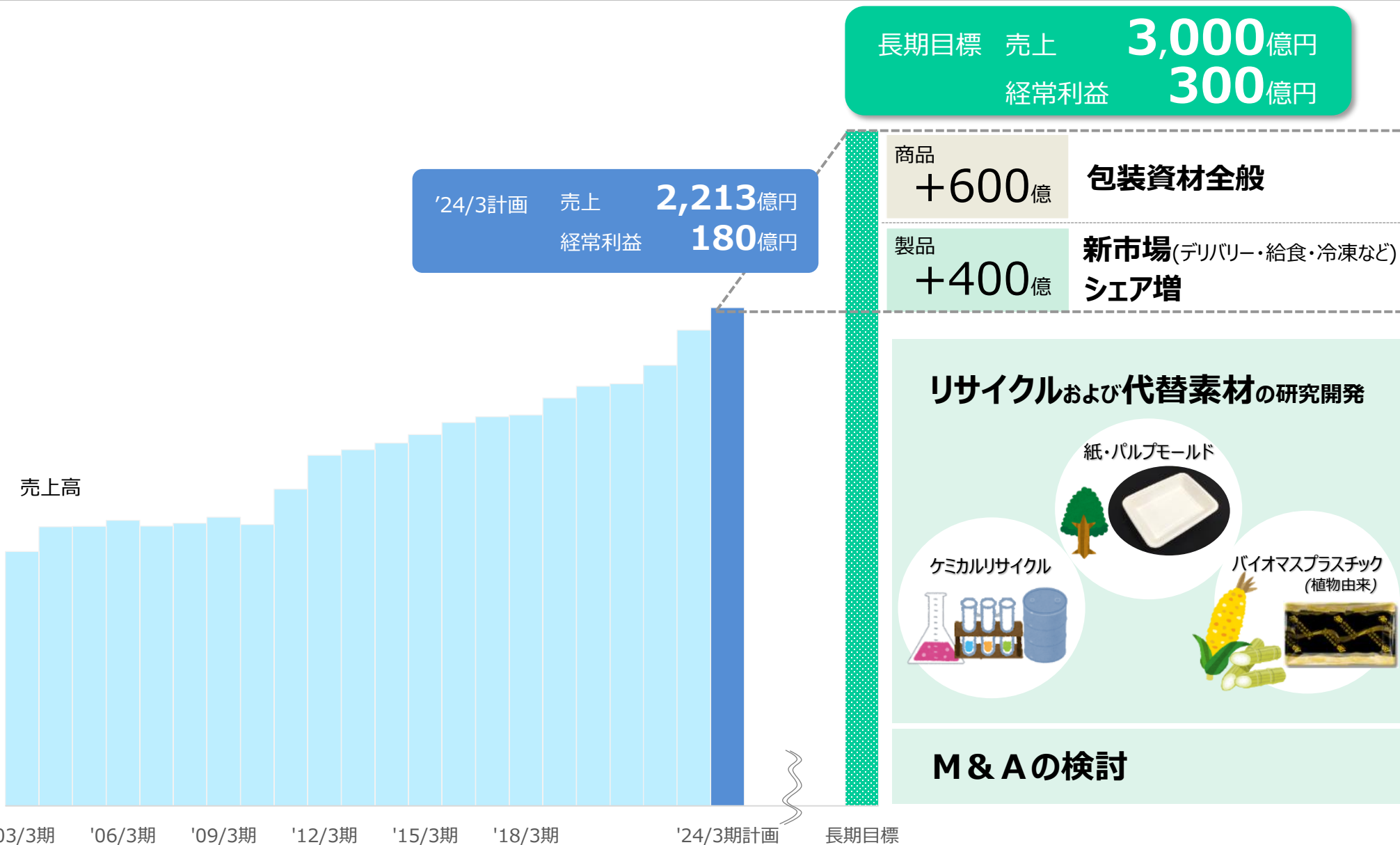




# 成長戦略



# 成長戦略



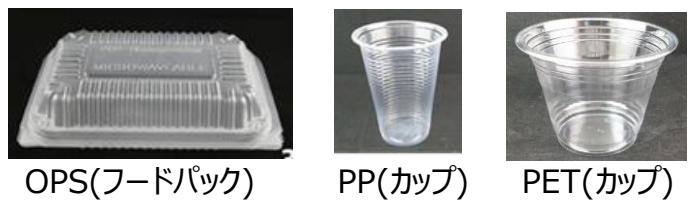
※2022年3月期より収益認識会計基準変更、2021年3月期のみ遡及適用

# LSSPI社 持分法適用関連会社化<概要>

企業名	Lee Soon Seng Plastic Industries Sdn. Bhd.
事業内容	簡易食品容器等の製造・販売。マレーシア最大手。 参考) SCGM Bhd. 2022年4月期業績 売上高：8,740百万円、当期利益：948百万円
従業員数	488名(2022年9月時点)
取得価額	取得総額：約167億円（当社取得額：約67億円）
株主 (持株比率)	三井物産 60%（海外経営ノウハウ・販売拡大） エフピコ 40%（生産性の向上）
株式取得日	2022年8月31日



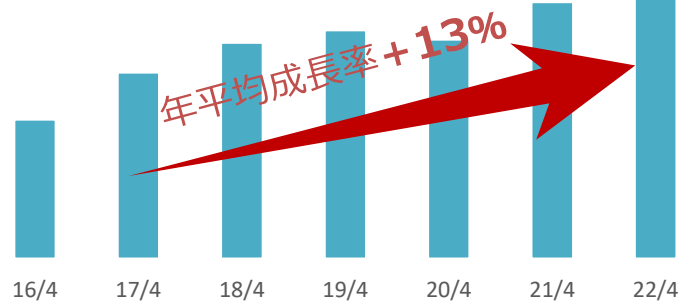
## 取扱品例



## LSSPI社 持分法適用関連会社化メリット

- 東南アジア  
人口増加・経済成長 ▶ 機能性容器の市場拡大
- 1つの工場生産  
(2019年新工場移転) ▶ 見える範囲で管理できる
- スペースに余裕あり  
旧型生産設備あり ▶ 知見・ノウハウ活用により  
大幅な生産性改善が可能
- 販売先が分散  
(最大2~3%) ▶ 顧客依存度が低い

## SCGM社 売上高推移



# LSSPI社 取り組み状況

## Step1

### 3か年計画「2倍の生産性へ」

- ・エフピコのノウハウによって、成形スピードアップ
- ・自動化、省人化の推進

## Step2

マレーシア・シンガポールで  
圧倒的シェア獲得

## Step3

さらに拡大が期待される  
東南アジア市場の礎へ



# 企業価値拡大に向けて

「もっとも高品質で環境に配慮した製品を」  
「どこよりも競争力のある価格で」  
「必要なときに確実にお届けする」



# 添付資料

---

# 用語解説

PS : ポリスチレン

PET : ポリエチレンテレフタレート

PP : ポリプロピレン

マルチFP (MFP) 容器 : -40℃～+110℃の耐寒・耐熱性、耐油性及び断熱性に優れた発泡PS容器 (2010年販売開始)

マルチソリッド (MSD) 容器 : マルチFPの端材を活用し、その特性を維持しつつシャープな形状を実現した非発泡PS容器  
耐熱温度+110℃ (2012年販売開始)

新透明PP容器 : 標準グレードのPP原料から、OPSと同程度の透明度を実現した透明PP容器 耐熱温度+110℃ (2012年販売開始)

OPS容器 : 従来からの二軸延伸PSシートから成形した透明容器 耐熱温度+80℃

耐寒PPi-タルク容器 : 従来の耐寒PPフィルター容器と比較し、強度を保ちながらプラスチック使用量を削減した容器 (2022年販売開始)

エコトレー : スーパーで店頭回収されたPS容器と工場内端材を原料とするリサイクル発泡PS容器 (1992年販売開始)

エコAPET容器 : スーパーで店頭回収されたPET 透明容器・PETボトル及び工場内端材を原料とする  
リサイクルPET透明容器 耐熱温度+60℃ (2012年販売開始)

エコOPET容器 : エコAPET容器と同じ原料を使用する二軸延伸PETシートから成形したリサイクルOPET透明容器  
耐油性に優れ、透明度も高くOPS容器と同等の耐熱性を実現 耐熱温度+80℃ (2016年販売開始)

バイオHIPS容器 : 植物由来原料を25%含んだHIPS (非発泡ポリスチレン) 容器 (2020年販売開始)

バイオPPF容器 : 植物由来原料を25%含んだPPF (フィルター入りポリプロピレン) 容器 (2020年販売開始)

配送センター(HC) : 製品をケース単位で出荷

ピッキングセンター(PC) : 製品及び商品を小分けピッキングし出荷

選別センター : 店頭回収したPS容器を白と色に、店頭回収した透明容器をPS・PET・PP等の素材に、それぞれ選別

# 世界初の素材・シート

**PP** : ポリプロピレン

- ☆ 耐熱性がある : +110℃
- ☆ 耐油性に優れる
- ★ 発泡が難く、軽量化しにくい
- ★ コシ強度が低い
- ★ 耐寒性に劣る
- ★ 透明性が出難い

**PP-タルク**

- ☆ 強度を保ちながらプラスチック使用量削減

**新透明PP**

- ☆ 耐熱性がある : +110℃
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 透明性がOPSと同等



**PS** : ポリスチレン



**PSP** : 発泡PS

- ☆ 成形性が良い
- ☆ 原材料比率が低い
- ☆ 軽量化が可能
- ☆ 断熱性が高い
- ★ 耐熱性が低い : +80℃
- ★ 耐油性に劣る

**MFP** : マルチFP

: 発泡PS

- ☆ 成形性が良い
- ☆ 原材料比率が低い
- ☆ 断熱性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 幅広い温度帯をカバー  
-40℃ ~ +110℃
- ☆ コシ強度がある
- ☆ 軽量化が可能



**マルチFP端材の循環**

**MSD** : マルチリッド

: 非発泡PS

**OPS** : 二軸延伸PS

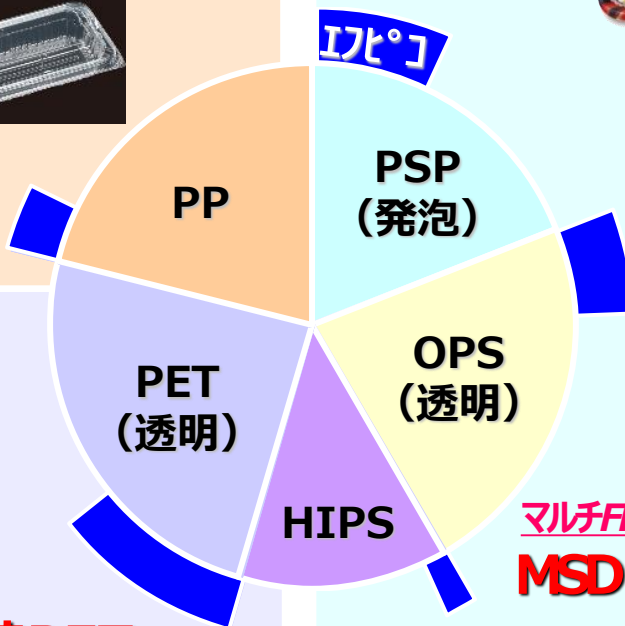
- ☆ 透明性がある
- ☆ 耐熱性 : +80℃
- ★ 耐油性に劣る
- ★ 軽量化に限界

**PET** : ポリエチレンテレフタレート

- ☆ 最後発 樹脂
- ☆ 透明性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性が低い : +60℃
- ★ 比重が大きい

**OPET** : 二軸延伸PET

- ☆ 透明性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 耐熱性がOPSと同等 : +80℃
- ☆ 延伸により軽量化が可能
- ★ 成形が難しい



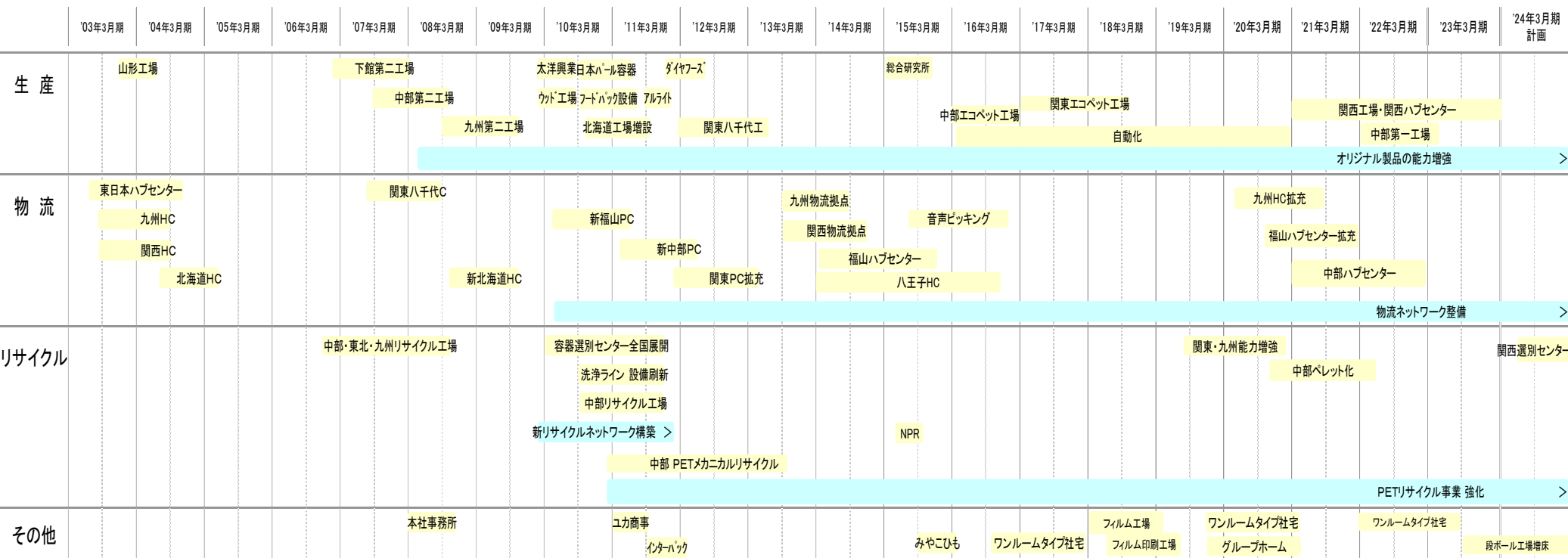


# 經常利益 増減要因 推移

単位: 億円

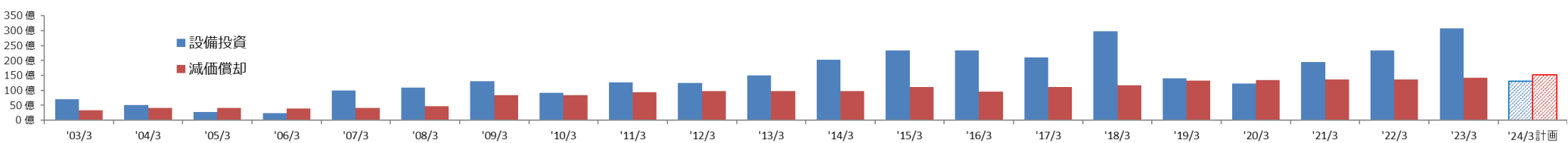
	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3			'18/3			'19/3			20/3			21/3			22/3			23/3			24/3計画				
																上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	
前期 經常利益	63.1	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	64.5	92.9	122.2	134.7	149.5	151.2	100.5	101.1	66.3	74.0	140.3	79.1	78.3	157.4	66.3	69.2	135.5	64.8	83.8	148.6	74.4	88.3	162.7	85.6	108.2	193.8	89.1	77.9	167.0	64.1	109.2	173.3		
原料価格	-6.0	-13.8	-36.5	-10.0	-13.0	-39.5	-37.0	-25.0																																

# 設備投資 推移



単位: 百万円

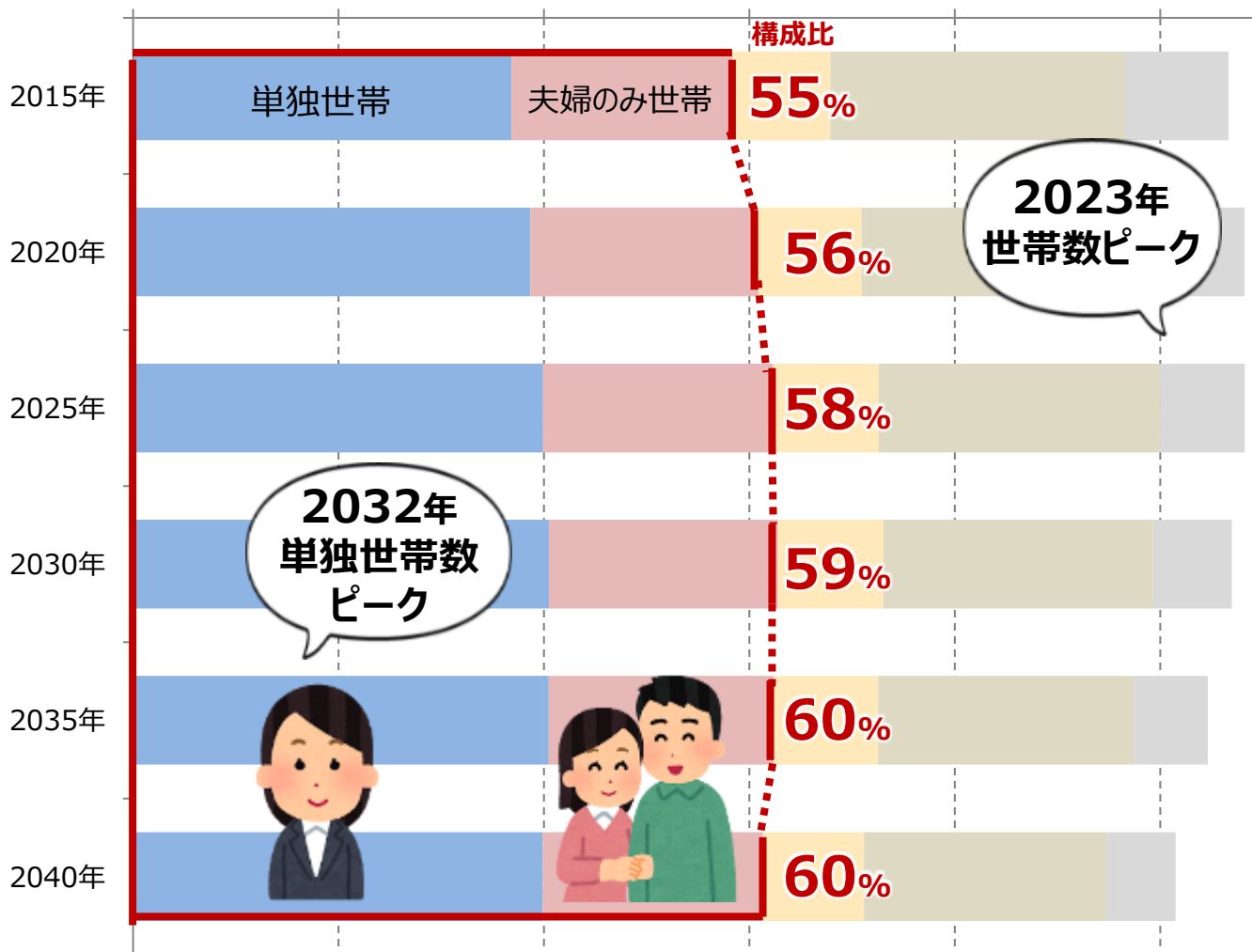
	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3	'24/3計画
設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,585	12,423	15,087	20,258	23,377	23,383	21,060	29,891	14,038	12,214	19,412	23,361	30,853	13,000
有形	6,138	4,248	2,621	2,156	9,523	10,655	12,166	8,827	12,352	12,093	14,783	19,751	23,051	23,058	20,790	29,342	13,442	11,688	19,105	23,084	30,121	12,500
無形	958	789	120	238	362	254	841	263	233	329	303	506	325	324	269	549	595	525	306	277	732	500
内金型	780	460	436	550	771	609	1,892	1,507	1,833	1,946	1,425	2,151	2,416	1,777	2,028	1,485	1,462	1,756	1,426	2,028	1,753	1,785
減価償却	3,339	4,210	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,316	9,728	9,746	9,703	11,136	9,526	11,183	11,706	13,170	13,532	13,609	13,636	14,180	15,200
研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,101	1,051	1,062	1,148	1,105	1,242	1,223	1,197	1,159	1,229	1,195	1,154	1,295	1,506



>>'09年3月期より設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

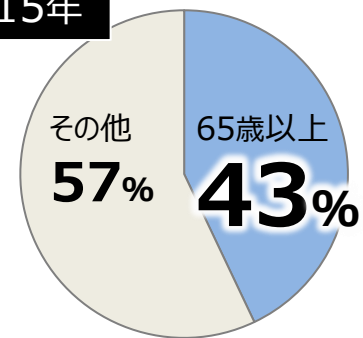
# 世帯数の推移

- 単独世帯
- 夫婦のみの世帯
- ひとり親と子から成る世帯
- 夫婦と子から成る世帯
- その他の一般世帯

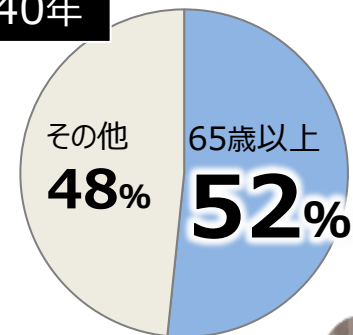


## 単独世帯・夫婦のみ世帯における 65歳以上の割合

2015年



2040年

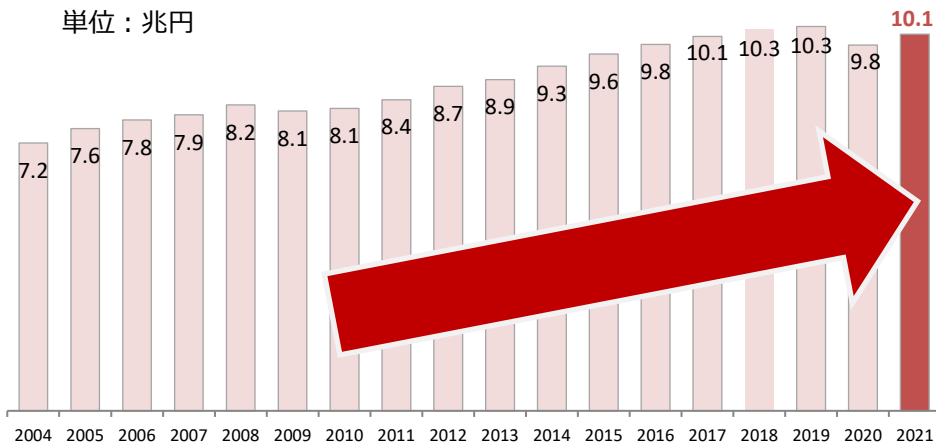


25年で9%増加



# 中食市場規模推移

単位：兆円



出典：一般財団法人 日本惣菜協会「惣菜白書」、一般社団法人 日本フードサービス協会、その他 当社推定情報を基に当社にて作成

2021年度  
中食市場  
約 **10.1**兆円

内食 約36.8兆円  
(2020年)



外食 約18.2兆円  
(2020年)



大手食品メーカー



## 今後の成長マーケット

家庭用冷凍食品

約 **4,100** 億円  
2022年



出典：一般社団法人 日本冷凍食品協会  
「冷凍食品の国内生産及び消費」

デリバリー

約 **1兆1,800** 億円  
2021年



出典：富士経済「外食産業マーケティング便覧2022」

テイクアウト

約 **1兆4,500** 億円  
2021年



出典：富士経済「外食産業マーケティング便覧2022」  
※テイクアウト市場規模より  
従来マーケットと重複するデリカショップなどを除く

高齢者向け施設給食

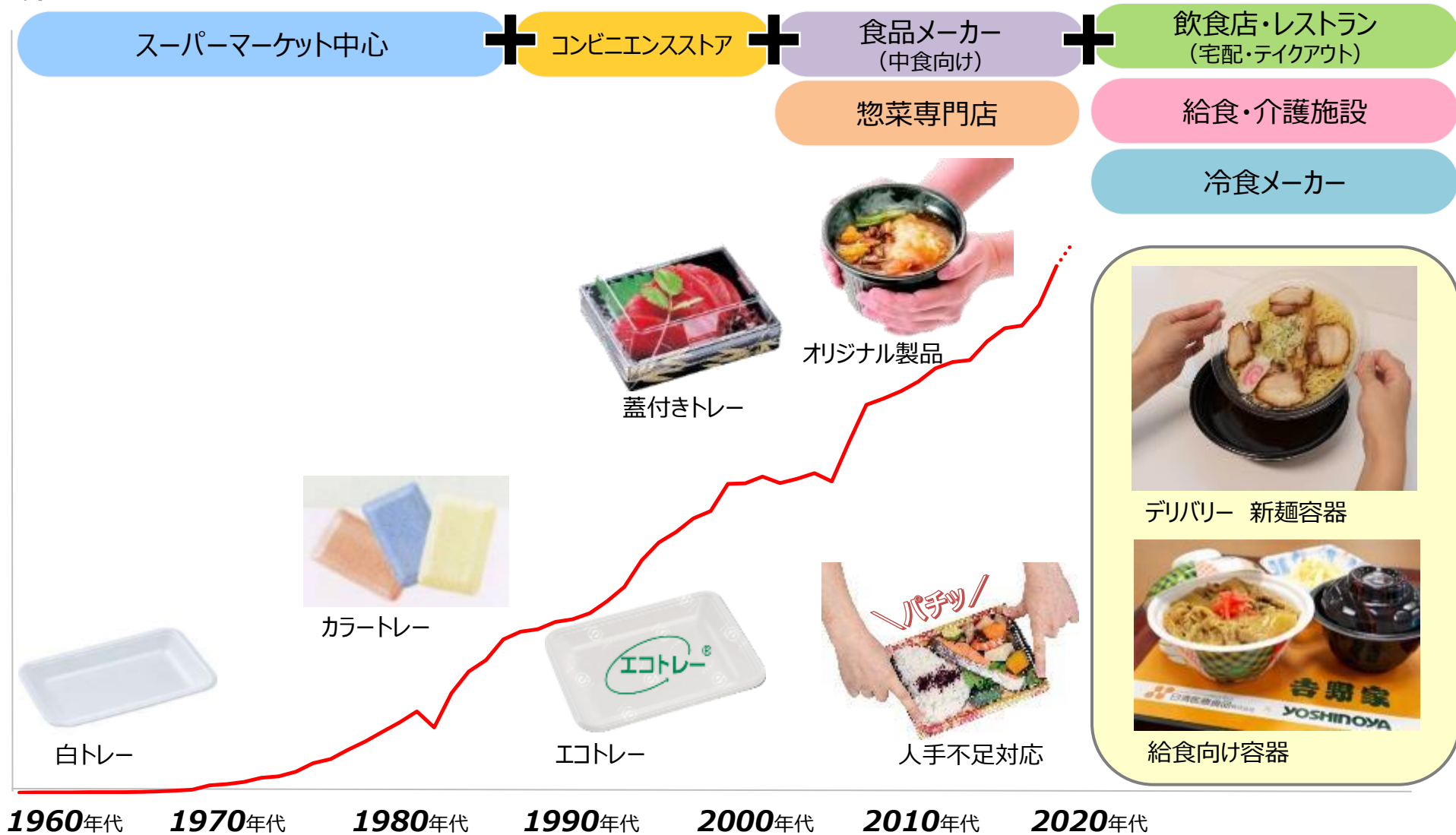
約 **9,600** 億円  
2020年



出典：富士経済「外食産業マーケティング便覧2021」

# 拡大するマーケット

エピックグループ  
売上高



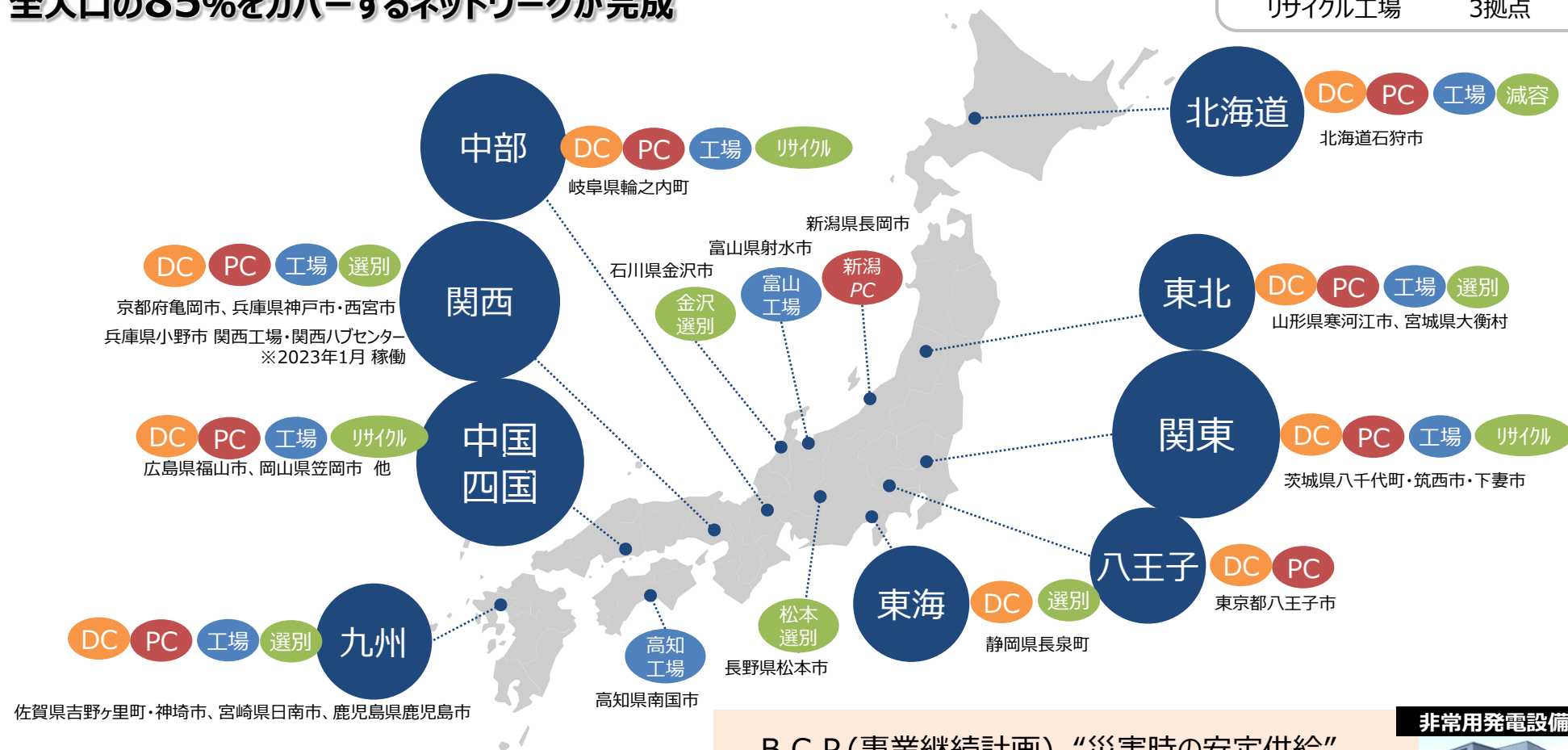
# 全国を網羅する生産・物流拠点

## 各エリアで 生産・配送が可能

半径100kmで主要都市を含む

全人口の85%をカバーするネットワークが完成

生産工場	20拠点
配送センター	9拠点
ピッキングセンター	10拠点
選別・減容センター	10拠点
リサイクル工場	3拠点



BCP(事業継続計画) “災害時の安定供給”  
 全国22物流施設すべてに、非常用発電設備を設置  
 72時間の電力供給を確保、燃料備蓄

非常用発電設備



# 設備投資・キャッシュフロー

## 営業キャッシュフロー

### ● 設備投資 180~250億 目途

中長期的な成長に向け、高付加価値製品の供給体制を充実

#### 【重点投資分野】

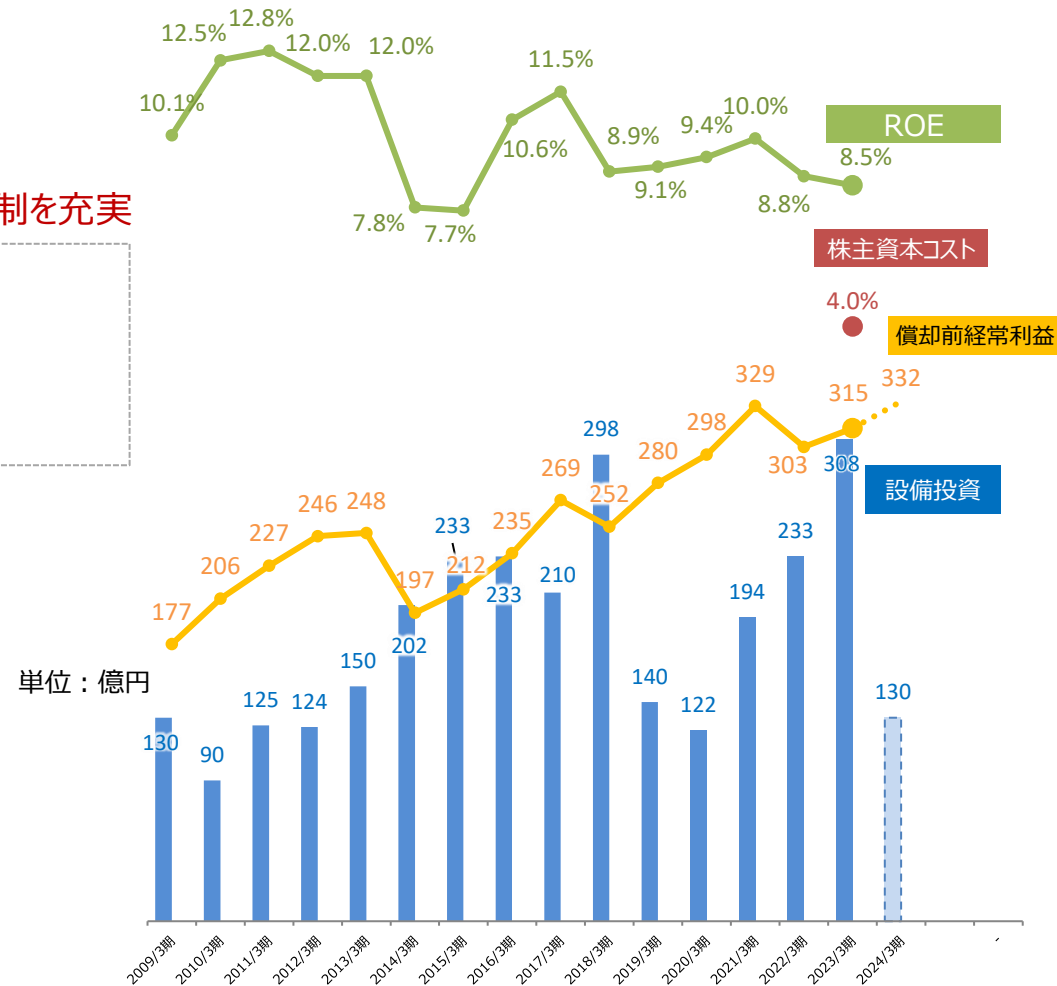
- ・リサイクル及びエコ製品の市場要請
- ・安定供給のための体制整備
- ・人材の確保・定着に向けた待遇の改善

### ● 連結配当性向 30% 目途

安定的かつ継続的な配当実施  
1株当たり利益の最大化

### ● 自己株式の取得

### ● 有利子負債調整



# ガバナンス体制

単位：名

	2019.6	2020.6	2021.6	2022.6
<b>組織形態</b>	監査等委員会設置会社			
<b>取締役 総数</b>	17	17	18	17
うち、独立社外取締役 (構成比)	2 11.8%	3 17.6%	4 22.2%	6 35.3%
<b>指名諮問委員会 全委員</b> (2021年2月設立)	—	—	3	3
うち、独立社外取締役 (構成比)	— —	— —	1 (委員長) 33.3%	2 (委員長含む) 66.7%
<b>報酬諮問委員会 全委員</b> (2020年5月設立)	—	3	3	3
うち、独立社外取締役 (構成比)	— —	1 (委員長) 33.3%	1 (委員長) 33.3%	2 (委員長含む) 66.7%



# 海洋プラスチック問題 世界と日本の動向

## 世界の動向

2017年 **中国** 廃棄物輸入規制をWTOに通知

2018年 **G7** 海洋プラスチック憲章

2019年

2021年

### バーゼル条約改正

一部の廃プラスチックが輸出規制の対象に

<規制対象外となるプラスチックの具体例>

- ①ペレット状のプラスチック
- ②フレーク状またはフラフ状かつ、ほとんど無色透明又は単一色のプラスチック
- ③製品の製造工程等から排出されるシート状、ロール状、又はベール状のプラスチック
- ④インゴット状の発泡ポリスチレン（PS）

## 日本の動向

### 環境省 プラスチック資源循環戦略

(マイルストーン抜粋)

- ・**2030年**までに容器包装の**6割**をリユース・リサイクル
- ・**2035年**までに使用済みプラスチックを**100%**リユース・リサイクルなどにより有効利用
- ・**2030年**までにバイオプラスチックを**約200万トン**導入

### プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律

(概要抜粋)

【製造・販売事業者等による自主回収】

- 製造・販売事業者等が製品等を**自主回収・再資源化する計画**を作成する。

→ 主務大臣が認定した場合に、認定事業者は廃棄物処理法の**業許可が不要**に。

# 環境省 プラスチック資源循環戦略

## カナダ・シャルルボアG7サミット 「海洋プラスチック憲章」

代替品が環境に与える影響の全体像を考慮し、使い捨てプラの unnecessary 使用を最大限に削除する。

2030年までに100%のプラスチックが、再使用可能、リサイクル可能又は、実行可能な代替品が存在しない場合には、熱回収可能となるよう産業界と協力する。

2030年までにプラスチック包装の最低55%をリサイクル又は再使用し、2040年までには全てのプラスチックを熱回収含め100%有効利用するよう産業界及び政府の他のレベルと協力する。

適用可能な場合には、2030年までにプラスチック製品においてリサイクル素材の使用を少なくとも50%増加させるべく産業界と協力する。

## 環境省 プラスチック資源循環戦略 「マイルストーン」

### リデュース

消費者はじめ国民各界各層の理解と連携協働の促進により、代替品が環境に与える影響を考慮しつつ、**2030年までに、ワンウェイのプラスチック（容器包装等）をこれまでの努力も含め累積で25%排出抑制**するよう目指します。

### リユース・ リサイクル

2025年までにプラスチック製容器包装・製品のデザインを、容器包装・製品の機能を確保することとの両立を図りつつ、技術的に分別容易かつリユース可能又はリサイクル可能なものとするを旨目指します。（それが難しい場合にも、熱回収可能性を確実に担保することを旨目指します。）

**2030年までに、プラスチック製容器包装の6割をリユース又はリサイクル**するよう、国民各界各層との連携協働により実現を旨目指します。**2035年までに、すべての使用済みプラスチックをリユース又はリサイクル、それが技術的経済的な観点等から難しい場合には熱回収も含め100%有効利用**するよう国民各界各層との連携協働により実現を旨目指します。

### 再生利用・ バイオマス プラスチック

適用可能性を勘案した上で、政府、地方自治体はじめ国民各界各層の理解と連携協働の促進により、**2030年までに、プラスチックの再生利用(再生素材の利用)を倍増**するよう目指します。

導入可能性を高めつつ、国民各界各層の理解と連携協働の促進により、**2030年までに、バイオマスプラスチックを最大限（約200万ト）導入**するよう目指します。

# 関連省庁・団体との連携

## 関連省庁・団体の活動

## エピコの参加状況

### 環境省

- **プラスチック資源循環戦略**  
…2019年6月のG20で、日本の「プラスチック資源循環戦略」をアピール
- **プラスチック・スマート**  
…“プラスチックとの賢い付き合い方”を全国的に推進し、国内外に発信

- 業界団体として小委員会に参加
- キャンペーンHPにて「トレーtoトレー」「ボトルtoトレー」の取組を掲載

### 経済産業省

- **クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス**  
…廃棄物の適正管理、プラスチック製品の3Rの取組など海洋プラスチック問題の解決に向けたイノベーションを推進する企業連合

- 技術部会 副部長会社としてアライアンスに参加

### 農林水産省

- **プラスチック資源循環アクション宣言**  
…食品産業の業界団体・企業から、自主的取り組みを募集

- 農林水産省HPにて「リサイクル」「リデュース」「啓発活動」の取組を掲載

### 日本経済団体連合会

- **SDGsに資するプラスチック関連取組事例集**  
…プラスチックの資源循環をより一層推進するとともに海洋プラスチックごみ問題に貢献する観点から、企業・団体による取組事例を収集

- 日本経済団体連合会HPにて「リサイクル」「リデュース」「啓発活動」の取組を掲載

### イニシアティブ

- **気候変動イニシアティブ** (Japan Climate Initiative)  
…脱炭素化をめざす世界の最前線に日本から参加することを宣言し、気候変動対策に積極的に取り組む団体のネットワーク

- 設立時より参加表明

# 施設見学のご案内

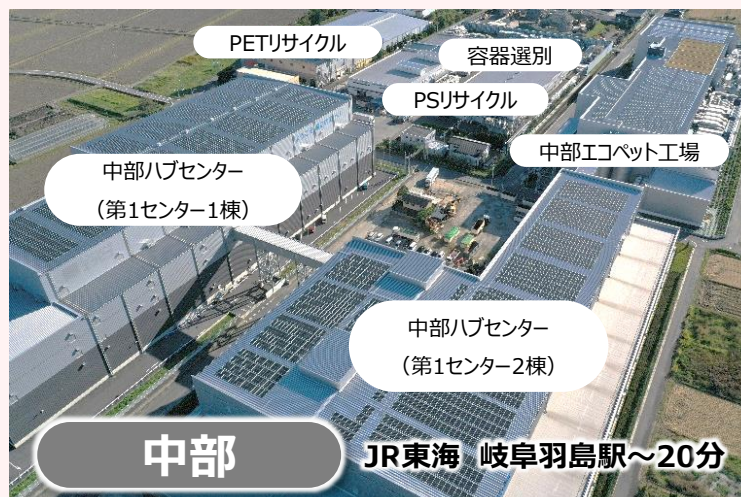
最新鋭の

生産

物流

リサイクル

をご覧ください



随時  
受付

経営企画室

03-5325-7756